

Panasonic®

取扱説明書

2.4Gカラーデジタルコードレスセット

品番 **VB-W400B**

技術基準適合認証品

工事説明書別添付

(「ラ・ルリエ」のみ主装置に添付)

はじめに

1

お使いになる前に

2

内線電話機として使う

3

カラーテレビドアホンの
子機として使う

4

もっと便利に使う

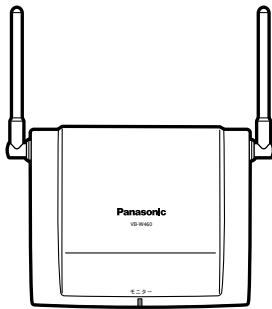
5

困ったときは

6

必要なときに

7



2.4G接続装置 (VB-W460B)



2.4Gカラーデジタルコードレス電話機 (VB-W411B)

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(4~9ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

もくじ

1 はじめに

安全上のご注意 (必ずお守りください)	4
ご使用にあたってのお願いと お知らせ	10
知っておいていただきたいこと	12
・概要	12
・中継アンテナについて	13
・カラーテレビドアホンを玄関子機 として接続する場合について	13
・電源のON/OFFについて	13
・電波の干渉について	14
・プライバシー・肖像権について ..	14
・本書における商標の表記について ..	14
この取扱説明書について	15
・本取扱説明書について	15
・取扱説明書で使われているマーク、 用語、表記方法について	16
・取扱説明書の見かた	16

2 お使いになる前に

商品の確認	17
・商品の確認 (付属品/添付品を 含む)	17
各部の名前とはたらき	18
・2.4Gカラーデジタルコードレス 電話機 (本機)	18
・充電台	20
・接続装置	20
充電する	21
・電池パックについて	21
・電池パックを取り付ける	22
・電池パックを外す	22
・充電する	23
・充電台を壁 (柱) に取り付ける ..	24
液晶表示部の見かた	25
知っておきたいボタンの使いかた ..	26
・ソフトキー	26
・コマンドナビキー	27
・FFボタン	28
音量を調節する	29
・音量を調節する	29
・呼出音を鳴らないようにする (サイレントモード)	30
・着信中に呼出音を停止する (クイックサイレント)	30

3 内線電話機として使う

電話をかける	31
・外線へ電話をかける	31
・短縮番号で電話をかける	31
・再ダイヤルする	32
・内線へ電話をかける	32
電話を受ける	33
・外線の電話を受ける	33
・内線の電話を受ける	34
・内線音声呼出に受話器を取らずに 応答する (内線トークバック) ..	34
FFキーを利用する	35
・FFボタンの基本的な操作について ..	35
・FFキーの状態確認	36
・FFキーの機能名を表示する	37
・FFボタンを使って外線へ電話を かける	39
・FFボタンを使って外線の電話を 受ける	40
・FFキーを自動的に表示させる	41
電話を保留・転送する	42
・外線通話を保留する (通話中、待ってもらう)	42
・内線通話を保留する (通話中、待ってもらう)	43
・外線/内線通話を他の内線に転送 する	43
音質を調節する (ボイスセレクト機能)	44
・音質を調節する	44

4 カラーテレビドアホン の子機として使う

ドアホンからの呼び出しに 応答する	45
・ドアホンからの呼び出しに 応答する	45
・カメラからの呼び出しに 応答する	47
・ドアホン通話を保留・転送する ..	49
ドアホン・カメラの画像を保存、 再生、消去する	51
・画像を保存する	51
・画像を再生する	52
・画像を消去する	55
画像の保護や表示設定をする	56
・画像を保護・解除する	56

- ・画像保存（録画）日時表示設定を
する 58
- 外や室内の様子を確認する 59**
 - ・外の様子を確認する
（ドアホンモニター） 59
 - ・カメラ周辺の様子を確認する
（カメラモニター） 60
- ドアホン親機、ドアホン子機との
通話 61**
 - ・ドアホン親機またはドアホン子機
を呼び出す（ドアホン内線通話） 61
 - ・ドアホン親機またはドアホン子機
からの呼び出しに応答する
（ドアホン内線通話） 63
- 電気錠／機器を操作する
（Fボタン機能） 64**
- 通話中やモニター中に別の呼び出し
があったときは 65**
 - ・ドアホン通話中やモニター中に別
のドアホンからの呼び出しがあっ
たとき 65
 - ・ドアホン親機またはドアホン子機
との通話（ドアホン内線通話）中に
ドアホンからの呼び出しがあっ
たとき 66
 - ・ドアホン通話中に電話から着信が
あったとき 67
 - ・ドアホン親機またはドアホン子機
との通話（ドアホン内線通話）中
に電話から着信があったとき 67

5 もっと便利に使う

- 声を変えて話す
（ボイスチェンジ機能） 68**
- 呼出音を変える 69**
 - ・電話の呼出音を変更する 69
 - ・ドアホンやカメラからの呼出音を
変更する 72
- 充電台から取り上げるだけで電話を
かける 74**
 - ・クイック通話する 74
 - ・クイック通話の設定と解除に
ついて 75
- 充電台から取り上げるだけで電話を
受ける／呼び出しに応答する 76**
 - ・オフフック応答する 76
 - ・オフフック応答の設定と解除に
ついて 77

- 相手に自分の声を聞こえないように
する（ミュート機能） 78**
- 操作ガイドを表示する 79**
- 機能メニューを使っているいろいろな
機能を設定する 80**
 - ・いろいろな機能を設定する 80
 - ・機能メニュー一覧 82

6 困ったときは

- 困ったときの確認事項 88**

7 必要なときに

- FFキーの機能名を編集する 91**
 - ・パソコンの動作条件 91
 - ・設定の流れ 91
 - ・FFキーの機能名を編集する 92
- 仕様 94**
- さくいん 95**
- 保証とアフターサービス 97**

1

2

3

4

5

6

7

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



危険

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
(下記は、絵表示の一例です。)









このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。




このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 危険

■ 充電式電池（電池パック）の取り扱いについて

<p>2.4G カラーデジタルコードレス電話機には、専用の電池パック以外は使用しない</p> <p> 液もれ・発熱・破裂の原因となります。</p> <p>禁止</p>	<p>2.4G カラーデジタルコードレス電話機用の電池パックを他の機器に使用しない</p> <p> 液もれ・発熱・破裂の原因となります。</p> <p>禁止</p>
<p>火への投入、加熱をしない</p> <p> 液もれ・発熱・破裂の原因となります。</p> <p>禁止</p>	<p>分解・改造をしない</p> <p> 液もれ・発熱・破裂の原因となります。</p> <p>分解禁止</p>
<p>(+) (-) を金属などでショートさせない</p> <p>ネックレス、クリップなどと一緒を持ち運んだり保管しない</p> <p> 液もれ・発熱・破裂の原因となります。</p> <p>禁止</p>	<p>専用の充電台を使用する</p> <p> 液もれ・発熱・破裂の原因となります。</p>

■ 充電台の取り扱いについて

<p>2.4G カラーデジタルコードレス電話機以外の充電には使用しない</p> <p> 液もれ・発熱・破裂の原因となります。</p> <p>禁止</p>

1

安全上のご注意



警告

■ 共通 (2.4G カラーデジタルコードレス電話機、AC アダプター、充電台、2.4G 接続装置)

1

安全上のご注意

異物を入れない



隙間などから、金属類や紙類を入れると火災や感電の原因となります。

禁止

- 万一、異物が入ったら、AC アダプターを電源コンセントから抜いて、販売店へご相談ください。

医用電気機器での設置や使用をしない

(手術室、集中治療室、CCU* 等)には持ち込まない

医用電気機器を近づけない



本機からの電波が医用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。

禁止

*CCU とは、冠状動脈疾患監視病室の略称です。

心臓ペースメーカーの装着部位から 22cm 以上離す



電波によりペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

自動ドア、火災報知器等の自動制御機器の近くには設置しない、および近くでは使用しない



本機からの電波が、自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。

禁止

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、AC100V 以外での使用をしない



たこ足配線等で定格を超えると発熱による火災の原因となります。

禁止

AC アダプターは、根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。

- 傷んだ AC アダプターは、使用しないでください。



警告

■ 共通 (2.4Gカラーデジタルコードレス電話機、ACアダプター、充電台、2.4G 接続装置)

ぬれた手で、ACアダプターの抜き差しはしない



感電の原因となります。

ぬれ手禁止

雷のときはACアダプター・コードに触らない



感電の原因となります。

接触禁止

ACアダプターのほこり等は定期的にとる



差し込み部分にゴミやほこりがたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

- ACアダプターを抜き、乾いた布でふいてください。長期間使用しないときは、ACアダプターを抜いてください。

煙・異臭・異音が出たり、落下・破損したときはACアダプターを抜く



そのまま使用すると火災や感電の原因になります。

電源プラグを抜く

- 使用を中止し、販売店へご相談してください。

ACアダプター・コードを破損するようなことはしない

(傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねることをしない)



傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。

禁止

- 破損した場合は使用を中止し、販売店へ交換を依頼してください。

1

安全上のご注意



警告

- 共通 (2.4G カラーデジタルコードレス電話機、ACアダプター、充電台、2.4G 接続装置)

機器をあけたり、分解・改造しない



感電の原因となります。

分解禁止

- 内部の点検や修理などは販売店へご依頼ください。

水などをかけない・水などに浸さない



発熱や発火の原因となります。

水ぬれ禁止

付属品または専用品以外を使用しない



指定以外の機器を使用すると、火災や感電の原因となります。

禁止

1

安全上のご注意

注意

■ 共通 (2.4Gカラーデジタルコードレス電話機、ACアダプター、充電台、2.4G 接続装置)

浴室や加湿器のそばなど、湿気が多い場所や塩水などのかかるところ、ほこりの多いところで使用しない



禁止

火災や感電の原因となります。

充電台に物を載せない、充電端子に触らない



禁止

充電端子のショートや発熱、感電の原因となります。

コンセントへの抜き差しは AC アダプター本体を持っておこなう



電源プラグ
を抜く

コードを引っ張ると、コードが破損し火災や感電、ショートの原因となります。

1

安全上のご注意

ご使用にあたってのお願いとお知らせ

■共通のお願い

防水仕様ではありません。

2.4G カラーデジタルコードレス電話機、電池パック、ACアダプター、充電台、2.4G 接続装置は防水仕様にはなっていません。

湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることは避けてください。

落とさないでください。

精密機器ですので落下させると故障の原因となります。

2.4G カラーデジタルコードレス電話機に無理な力がかかるような場所に置かないでください。

液晶画面、内部基板などの破損／故障の原因となります。

ズボンやスカートの後ろのポケットに入れたまま、椅子などに座らないでください。

2.4G カラーデジタルコードレス電話機が重たいものの下にならないようご注意ください。

極端な高温・低温はさけてください。

温度は0℃～40℃、湿度は90%以下（ただし結露しないこと）の範囲でお使いください。

●エアコンの吹き出し口に置かないでください。

急激な温度の変化により結露し、内部が腐食する原因となります。

寒い所から急に暖かい所に持っていくと同じように結露の原因となります。

屋外などでご使用の場合は、高温や低温、直射日光や直接雨にあてること、衝撃などはお避けください。

一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、影響を与える場合がありますのでなるべく離れた場所でお使いください。

2.4G カラーデジタルコードレス電話機を多機能電話機に近づけると、多機能電話機の通話にノイズが入る場合があります。その場合は、離してお使いください。

2.4G カラーデジタルコードレス電話機は、デジタル方式の電波を使います。もし、第3者が市販の受信機を用いて電波を受信したとしても、無意味な雑音としか聞こえません。しかし、特殊手段を講じた場合は傍受される可能性がありますので、ご注意ください。

電波を使う機器から離してお使いください。

電波の干渉による悪影響を予防するため、次の機器からは2.4G カラーデジタルコードレス電話機・2.4G 接続装置・カラーテレビドアホンのドアホン親機／子機（別売）・カメラ（別売）とも約3 m 以上離してください。

●電子レンジ

●無線 LAN 機器（ルーター・AV 機器・防犯機器など）

●ワイヤレス AV 機器（テレビ・ステレオ・パソコンなど）

その他、下記の機器も影響が出る場合があります。

・万引き防止システム（書店やCD ショップなど）

・アマチュア無線局

・工場や倉庫などの物流管理システム

・鉄道車両や緊急車両の識別システム

・マイクロ波治療器

・デジタルコードレス電話機（ファクス）

・その他、Bluetooth™ 対応機器や VICS（道路交通情報通信システム）など

1

ご使用にあたってのお願いとお知らせ

■電池パックについてのお願い

直射日光があたり、風通しのよい涼しい場所に保管してください。

電池パックは消耗品です。

充電を繰り返しても機能が回復しない場合は、電池パックの寿命です。

■ACアダプターや充電台についてのお願い

次のような場所での充電はしないでください。

周囲の温度が0℃以下または40℃以上になるところ
湿気・ほこり・振動の多いところ（誤作動の原因となります）
ラジオなどのそば（ラジオなどに雑音が入ることがあります）

■お手入れについて

- 充電台やACアダプターのお手入れのときは、ACアダプターをコンセントから抜いてください。
- 2.4G カラーデジタルコードレス電話機のお手入れのときは、電池パックを外してください。
- 汚れたら、乾いた柔らかい布でふいてください。
- 汚れがひどい場合は、水で薄めた台所用洗剤（中性）をしみこませた柔らかい布でふき、乾いた柔らかい布で仕上げてください。
- 化学ぞうきんは、その注意書きにしたがってください。
- 次のものは使わないでください。石油／みがき粉／シンナー／ベンジン／ワックス／熱湯／粉石けんなど。
- 2.4G カラーデジタルコードレス電話機と充電台の充電端子は、月に一度、乾いた布でふいてください。ほこりがたまって汚れていると、充電時間が長くなったり、充電できないことがあります。
- 充電端子には直接手を触れないでください。

■長期間使わないときは

- 1か月以上使用しないときは、電池パックの性能保持のため、電池パックを外しておいてください。
電池切れになったり、電池パックを外して1か月以上経過すると、機能メニューの設定がお買い上げ時の状態に戻ることがあります。

■廃棄（または譲渡、返却）される場合の留意事項

- 本製品は、お客様固有のデータを登録または保持可能な製品です。製品内のデータ流出等の不測の損害等を回避するために、本製品を廃棄（または譲渡、返却）される際には、製品内に登録または保持されたデータを消去する必要があります。
電話帳、履歴、短縮ダイヤルなどのデータはインテリジェントコミュニケーションシステム「IP-Digaport J II/X II」またはデジタルビジネスホン「ラ・ルリエ」の主装置に保持されます。消去方法はインテリジェントコミュニケーションシステム「IP-Digaport J II/X II」またはデジタルビジネスホン「ラ・ルリエ」の取扱説明書をご覧ください。カラーテレビドアホンのドアホン（別売）・カメラ（別売）から保存した画像データの消去方法は「画像を消去する」（→55ページ）をご覧ください。

1 知っておいていただきたいこと

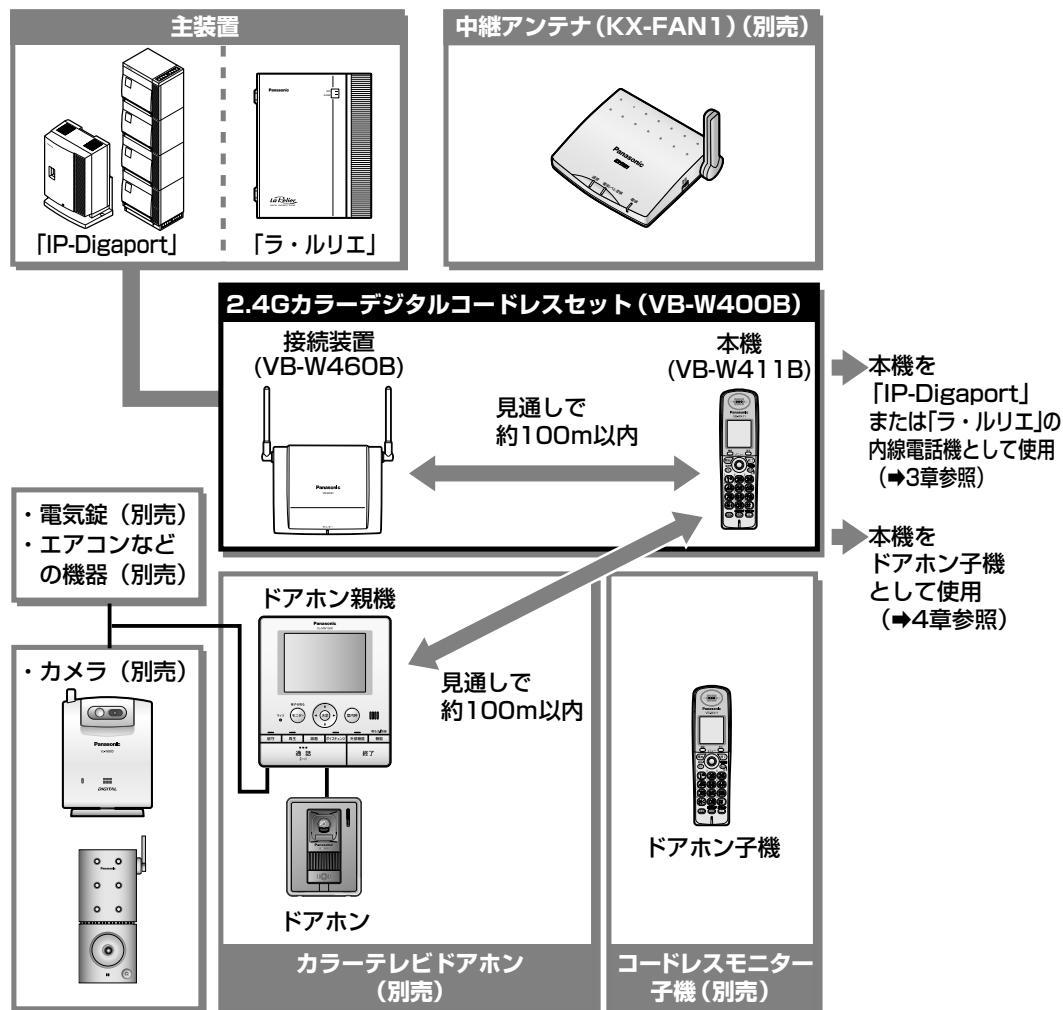
概要

本製品 (VB-W400B) は「2.4Gカラーデジタルコードレス電話機」(以下、「本機」)と「2.4G接続装置」(以下、「接続装置」)がセットになった商品です。

本製品を、インテリジェントコミュニケーションシステム「IP-Digaport J II/X II」(以下、「IP-Digaport」)またはデジタルビジネスホン「ラ・ルリエ」(以下「ラ・ルリエ」)に接続することにより、本機を「IP-Digaport」または「ラ・ルリエ」の内線電話機として使用することができます。

また、本製品はカラーテレビドアホンと連携し、ドアホン子機としてドアホン/ドアホン親機/他のドアホン子機からの呼び出しに応答することもできます。

システム構成図

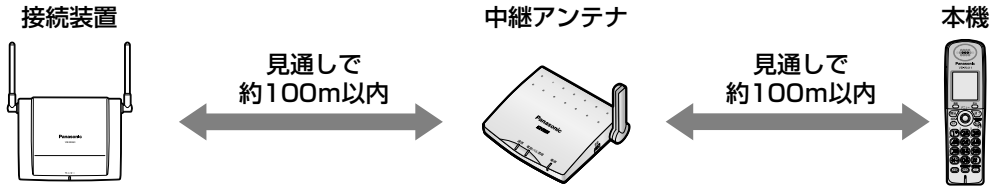


- 「IP-Digaport」および「ラ・ルリエ」には接続装置を最大3台接続することができます。1台の接続装置に本機を最大2台接続することができます。
- 本機 (VB-W411B)は接続装置 (VB-W460A/VB-W460) に登録して使用することもできます。ただし、その場合、「短縮番号で電話をかける」(→31ページ)、「再ダイヤルする」(→32ページ)の機能を利用することはできません。

12 ● 接続可能な別売品についてはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

中継アンテナについて

- 中継アンテナ (KX-FAN1)(別売) を使用することで、本機の通話エリアを拡大することができます。システム全体で中継アンテナを1台接続することができます。中継アンテナの設置・設定についてはお買い上げの販売店にお問い合わせください。



- 中継アンテナはドアホン親機にも接続することができます。中継アンテナはドアホン親機への接続台数も含めてシステム全体で1台です。中継アンテナをドアホン親機に接続した場合、接続装置には接続しないでください。
- 中継アンテナを使用し、かつ接続装置に本機を2台接続している場合、2台とも通話中に移動すると通話エリア内であっても、圏外の警告音が鳴ることがあります。その場合、すぐに通話ができている場所に戻ってください。

カラーテレビドアホンを玄関子機として接続する場合について

- 「IP-Digaport」または「ラ・ルリエ」では玄関子機（別売）を接続し、玄関子機からの呼び出しに本機や「IP-Digaport」または「ラ・ルリエ」に接続した多機能電話機などで応答することができます。
- カラーテレビドアホンを玄関子機として接続することもできます。ただし、その場合の機能・操作方法は本取扱説明書に記載している内容と異なります。カラーテレビドアホンを玄関子機として接続した場合の機能・操作方法については「IP-Digaport」または「ラ・ルリエ」の取扱説明書の下記の内容をご覧ください。

「IP-Digaport」取扱説明書のタイトル	「ラ・ルリエ」取扱説明書のタイトル
ドアホンに応答	玄関子機からの呼び出しに応答する 電気錠を解錠する 外部スイッチ（多目的リレー）を制御する

- 本取扱説明書ではカラーテレビドアホンを主装置に接続せずに使用した場合の本機の機能・操作方法について記述しています。
- 玄関子機からドアホンアダプターまたはドアホンユニットを経由して呼び出された場合、映像を表示することはできません。

電源のON/OFFについて

- 本機に電源スイッチはありません。電池パックを本機に取り付けることにより電源がONになります。電池パックを取り外すと電源がOFFになります。

電波の干渉について

- **本機は、2.4 ~ 2.4835 GHz の全帯域を使用する無線設備です。**
本機には、下記のマークが貼付されています。

2.4FH8

- 移動体識別装置の帯域が回避不可能であることを表します。
- 変調方式は「FH-SS方式」であることを表します。
- 与干渉距離は80 mであることを表します。

1 本機の使用周波数に関わるご注意

本機の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、本機の電池パックと充電台のACアダプターを抜いて、お買い上げの販売店にご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、お買い上げの販売店（→裏表紙）にご相談ください。


プライバシー・肖像権について

ドアホン・カメラの設置や利用については、ご利用になるお客様の責任で被写体のプライバシー、肖像権などを考慮のうえ、行ってください。

※「プライバシーは、私生活をみだりに公開されないという法的保障ないし権利、もしくは自己に関する情報をコントロールする権利。また、肖像権は、みだりに他人から自らの容ぼう・姿態を撮影されたり、公開されない権利」と一般的に言われています。

本書における商標の表記について

Microsoft、Windows は、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

 SDロゴは商標です。

その他記載の会社名・商品名などは、各会社の商標または登録商標です。

Windows® 98 の正式名称は、Microsoft® Windows® 98 operating systemです。









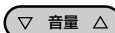








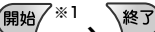






Windows® Me の正式名称は、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system です。






Windows® 2000 の正式名称は、Microsoft® Windows® 2000 Server Network operating system、またはMicrosoft® Windows® 2000 Professional operating system です。

Windows® XP の正式名称は、Microsoft® Windows® XP Professional operating system、またはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemです。

本取扱説明書について

- この取扱説明書では、本機を「IP-Digaport」または「ラ・ルリエ」の内線電話機として使う場合の基本的な操作方法と、カラーテレビドアホンのドアホン子機として使う場合の基本的な操作方法について記述しています。
内線電話機として使う場合、「IP-Digaport」または「ラ・ルリエ」の漢字表示付電話機と同様に操作することができます。
- 基本操作以外の操作方法や設定方法などについては、「IP-Digaport」または「ラ・ルリエ」の取扱説明書の漢字表示付電話機の操作説明、カラーテレビドアホンの取扱説明書を必要に応じてご覧ください。
- 「IP-Digaport」または「ラ・ルリエ」の取扱説明書の漢字表示付電話機の説明で「1秒以上押してください」などの記載がある場合、確実に操作を行うため2秒以上押してください。
- 漢字表示付電話機と本機ではボタンの形状・表記が一部、異なります。漢字表示付電話機の各ボタンに対応する本機のボタンについては以下をご覧ください。

漢字表示付電話機	2.4Gカラーデジタルコードレス電話機（本機）
 (▲ ▼ ◀ ▶)	
 (決定)	
 保留	 保留
 設定/転送	 転送 文字
 ▼ 音量 ▲	 ▲、▼
 ①～⑨、①①	 ①～⑨、①①
 *	 *
 #	 #
 モニター	 開始※1、終了
機能  短縮	機能※2 
戻る  再ダイヤル	戻る※3 
 フック	 終了※4

- ※1：通話中および電話をかけている時に押した場合、漢字表示付電話機の  に対応します。
- ※2：画面の下部に  が表示されている時に押した場合、漢字表示付電話機の  に対応します。（→26ページ）
- ※3：画面の下部に  が表示されている時に押した場合、漢字表示付電話機の  に対応します。（→26ページ）
- ※4：内線電話機として利用時、登録操作中などに押した場合、待ち受け画面に戻ります。

この取扱説明書について

取扱説明書で使われているマーク、用語、表記方法について

外線	「外線」を「回線」と表記する場合があります。
待ち受け中	通話していない状態です。
①～⑨、 *、#	数字をダイヤルするときの説明では、カタカナやアルファベットは省略しています。
本機	2.4Gカラーデジタルコードレス電話機のことを「本機」と表記します。
ドアホン子機	ドアホン親機に登録されている本機以外の子機のことを本機と区別するために、「ドアホン子機」と表記します。
ドアホン通話	本機とドアホンとの通話を「ドアホン通話」と表記します。
ドアホン内線通話	本機とドアホン親機、または本機とドアホン子機との通話を「ドアホン内線通話」と表記します。

取扱説明書の見かた

タイトル

操作目的ごとにタイトル、サブタイトル等が付けられています。

章番号

サブタイトル

ナビ操作

本機のコマンドナビキーを使用した操作について説明しています。

操作のヒント

操作のアドバイスを説明しています。

お知らせ

知っておくと便利な事項や知っておいていただきたい事項を説明しています。

お願い

本システムを使う上での注意点を説明しています。

お知らせ

- 本文中に表記する製品および表示部に表示される文字の書体、文字の大きさ、表示位置、文字間のスペースは実際とは異なります。

操作手順

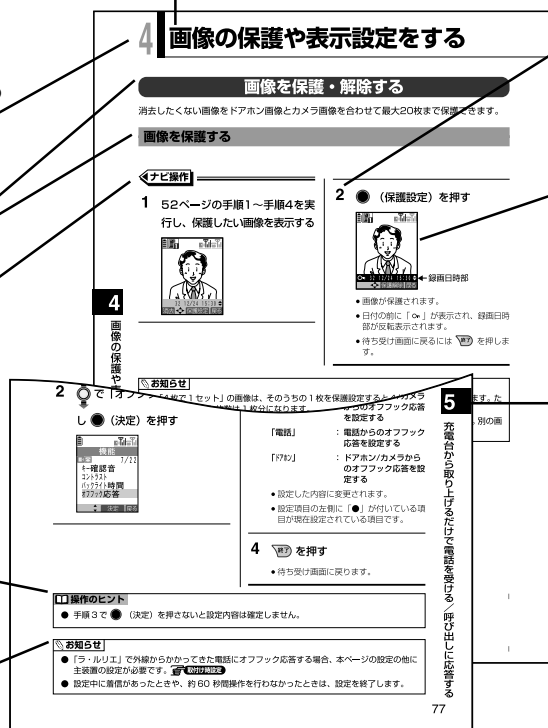
操作の順番を表しています。

画面表示

液晶表示画面の例を説明しています。

さくいんタグ

各章を引きやすいようにタグがついています。



商品の確認（付属品／添付品を含む）

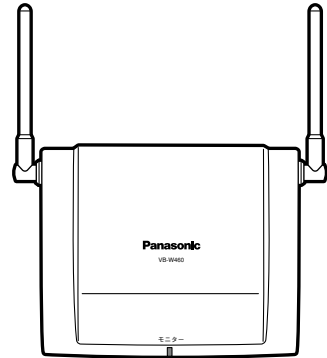
■本機（VB-W411B）



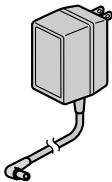
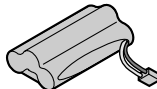
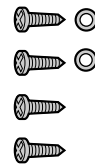
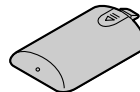
■充電台



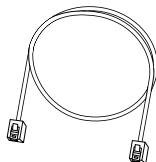
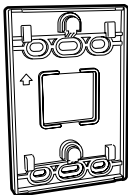
■接続装置（VB-W460B）



■ACアダプター

■電池パック
（KX-FAN50）■電池カバー ■ねじ（4個）・
ワッシャー（2個）

■壁掛けアダプター ■接続コード



■取扱説明書（本書）



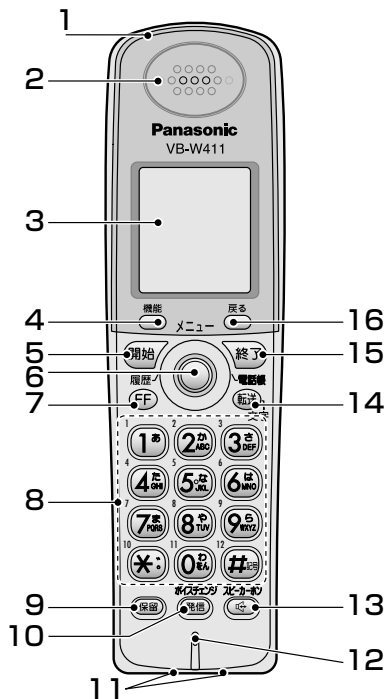
🔪 お知らせ

- 接続装置は、工事担当者によって壁・柱などに設置されます。
- 足りないものがある時はお買い上げの販売店にお問い合わせください。

2 各部の名前とはたらき

2.4Gカラーデジタルコードレス電話機（本機）

<正面>



- 1 充電ランプ
 ・電話を受けたときに点滅
 ・充電中に点灯
 ・外線の通話保留時に点滅
 ・メッセージが登録されたときに点滅
 または点灯

- 2 受話口
 3 液晶表示部 (⇒25 ページ)

- 4 **機能** ボタン
 ・選択中の項目に関連したメニュー画面を表示する
 ・ソフトキーとして使う(⇒26ページ)
 ・短縮ボタンとして使う(⇒31ページ)

- 5 **開始** ボタン
 ・内線へ電話をかける (⇒32 ページ)
 ・電話を受ける (⇒33 ページ)

- 6 コマンドナビキー (⇒27 ページ)
 ・ソフトキーとして使う(⇒26ページ)

- 7 **FF** ボタン (⇒28 ページ)

- 8 ダイヤルボタン

- 9 **保留** ボタン
 ・通話を保留する (⇒42、43 ページ)

- 10 **発信** ボタン

- ・外線へ電話をかける (⇒31 ページ)
 ・ボイスチェンジをする (⇒68ページ)
 ・ミュートにする (⇒78 ページ)

- 11 充電端子 (金属部分)

- 12 送話口

- 13 **スピーカ** ボタン

- ・ドアホン、またはカメラとの通話で
 スピーカーホン通話^{※1}のON/OFFを
 切り替える
 (ドアホン内線通話 (⇒61 ページ～
 63 ページ)、外線/内線の電話通話
 (⇒31 ページ～34 ページ)では無効)

- 14 **転送** ボタン

- ・通話を転送する (⇒43 ページ)
 ・文字入力モードを変更する (漢字表
 示が可能な主装置の場合)

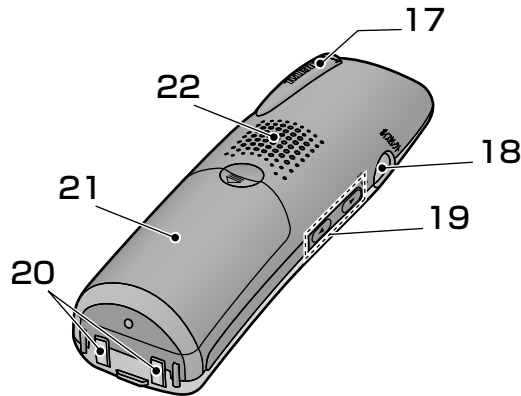
- 15 **終了** ボタン

- ・通話を終了する
 ・待ち受け中に戻る

- 16 **戻る** ボタン

- ・前の画面に戻る
 ・文字のクリアー
 ・ソフトキーとして使う (⇒26ページ)
 ・再ダイヤルボタンとして使う
 (⇒32 ページ)

<背面>



17 アンテナ

18 ボイスセレクト ボタン

- ・受話音質を調節する (⇒44 ページ)

19 音量 ボタン

- ・着信音量や受話音量を調節する (⇒29 ページ)

20 充電端子 (金属部分)

21 電池カバー

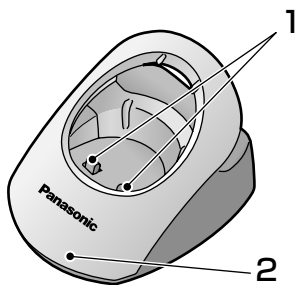
22 スピーカー

※ 1 : スピーカーホン通話

- ・ドアホンやカメラからの映像を見ながら通話することができます。相手の声はスピーカーから聞こえます。送話口に向かって通話してください。
- ・ドアホン親機と接続された通話 (ドアホン通話、カメラ通話) でのみ利用できます。
- ・スピーカーホン を押すことで、スピーカーホン通話のON/OFFを切り替えることができます。初期状態はONになります。ONの場合、スピーカーホンボタンのランプが点灯します。

各部の名前とはたらき

充電台

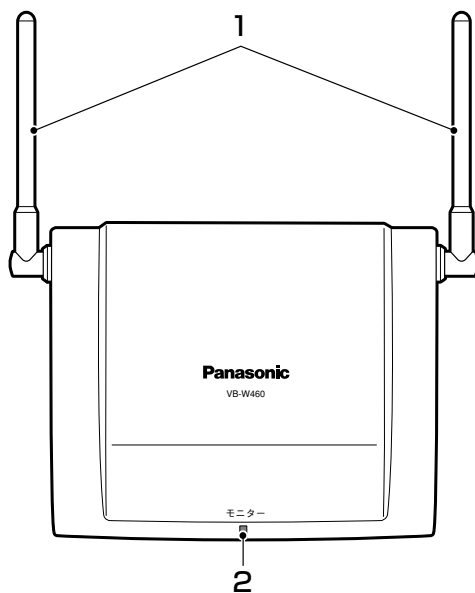


1 充電端子（金属部分）

2 充電台

・本機の操作中に、本機を充電台に置いた場合、待ち受け画面に戻ります。

接続装置



1 アンテナ

2 モニターランプ

状態ごとに異なる周期で繰り返し緑色点滅します。

待ち受け中 : 「3.9 秒点灯 / 0.1 秒消灯」

1 台が通話中 : 「3.7 秒点灯 / 0.1 秒消灯 / 0.1 秒点灯 / 0.1 秒消灯」

2 台が通話中 : 「3.5 秒点灯 / 0.1 秒消灯 / 0.1 秒点灯 / 0.1 秒消灯 / 0.1 秒点灯 / 0.1 秒消灯」

主装置との通信確立中 : 「0.5 秒点灯 / 0.5 秒消灯」（最大 60 秒継続※）

本機が未登録 : 「1 秒点灯 / 1 秒消灯」

※ 60 秒を超えて継続する場合、通信異常の可能性が
あります。販売店にお問い合わせください。


ハードウェア故障 : 「常時点灯」または「常時消灯」

断線 : 「常時消灯」

2 充電する

電池パックについて

電池パックの交換時期

電池パックは消耗品です。約12時間以上充電しても数分の会話で電池残量表示（）が点滅したら、電池の寿命です。新しい電池パックと交換してください。

電池パックは専用別売品です。お求めは、お買い上げの販売店または販売会社へお問い合わせください。



ご使用済みの電池は貴重な資源です。再利用しますので廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

Ni-MH

使用可能時間


■電池の使用可能時間の目安

使用可能時間	
連続待ち受け時間	約150時間（バックライト消灯、かつ充電ランプ消灯時）
連続通話時間	約5時間（電話通話時）
	約2時間（ドアホン・カメラ通話時）

- 一度も通話や操作をせずに、連続して待ち受け状態を保った場合を連続待ち受け時間、ずっと通話だけを行った場合を連続通話時間といいます。
- 電池の使用可能時間は、電波が安定した状態で算出した当社計算値です。電波の弱い場所での通話や電波の届かない場所での待ち受けは電池の消費が多いため、表中の使用可能時間とは異なります。
- 充電のしかたや電池の劣化度、使用環境によって、表中の使用可能時間は変化します。
- 実際にご使用になれる時間は、待ち受け時間と通話時間などの組合せになりますので、発信・着信があつたり、通話時間や移動することが多い場合は短くなります。

📌お知らせ

- 電池残量が少なくなると

通話中の場合 → 電池残量表示（）が点滅し、警告音が鳴ります。約60秒後に画面に「充電してください」と表示され、すべての操作ができなくなります。通話相手に充電が必要なことを伝えてから通話を終了し、本機を充電してください。（➡23ページ）

通話中以外の場合 → 画面に「充電してください」と表示され、すべての操作ができなくなります。本機を充電してください。（➡23ページ）

- 充電中（➡23ページ）でも電池残量が少ない場合、電話を受けられないことがあります。ただし、その場合でも発信者には電話の呼出音が聞こえます。待ち受け中はできるだけ本機を充電台に置いてください。

充電してください

充電する

電池パックを取り付ける

1 コネクターを接続する

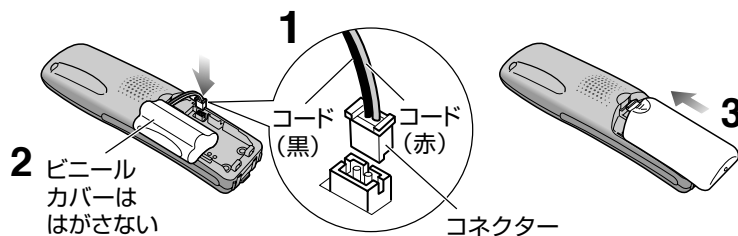
- 本機に記載の **赤 黒** にコードの色を合わせてコネクターを差し込んでください。逆向きに強く差し込むとコネクターが壊れる場合があります。
- 最後まで確実に差し込んでください。

2 電池パックを入れる

- 電池パックを入れてください。
- 電池パックのビニールカバーははがさないでください。

3 電池カバーを取り付ける

- コードをはさまないように注意してかぶせ、「パチッ」と音がするまでスライドさせます。



お願い

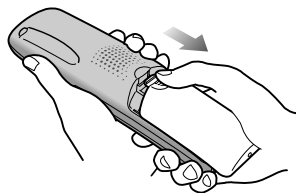
- 1 か月以上使用しないときは、電池パックの性能保持のため、電池パックを外しておいてください。
- 電池パックを取り付けたあとは、実際の電池残量と液晶表示部の表示に差が出ることがあります。十分に充電し、充電が完了してからお使いください。

お知らせ

- 本機に電源スイッチはありません。電池パックを本機に取り付けることにより電源がONになります。電池パックを取り外すと電源がOFFになります。

電池パックを外す

1 電池カバーの ≡ 部分を強く押さえ下にスライドさせる



2 コードをねじらないようにコネクターの根元を持って引き抜く

- コードを引っ張らずに必ずコネクターの根元を持って引き抜いてください。

充電する

本機をご使用になる前に、必ず充電してください。

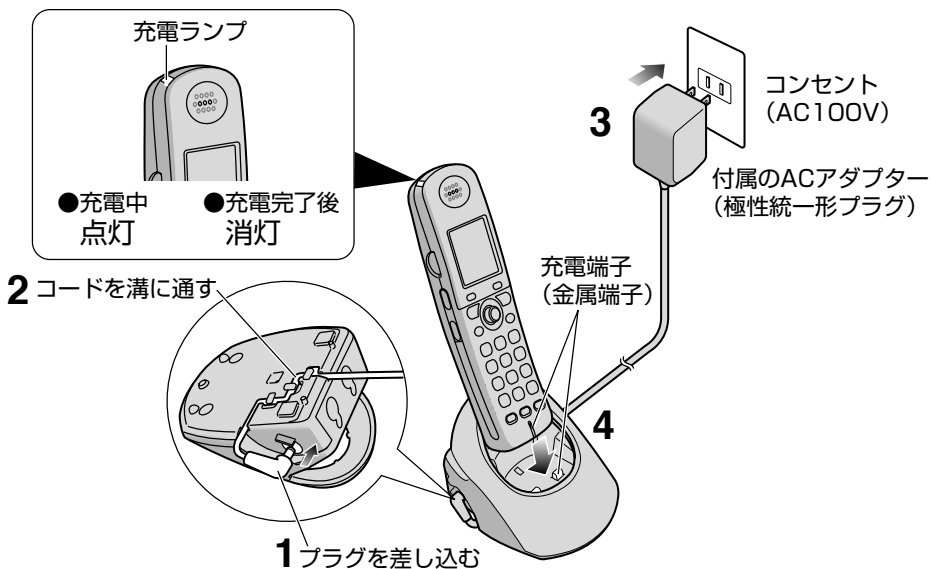
1 ACアダプターのプラグを充電台に差し込む

2 コードを充電台の溝に通す

3 ACアダプターをコンセントへ差し込む

4 本機を充電台に置く

- 充電ランプが点灯します。点灯しないときは再度置き直してください。
- 充電が完了すると充電ランプが消灯します。
- 電池残量がない状態から充電完了まで約12時間かかります。
- 待ち受け中はできるだけ本機を充電台に置いてください。
- 初めてご使用になるときは必ず充電し、充電が完了してからお使いください。



お願い

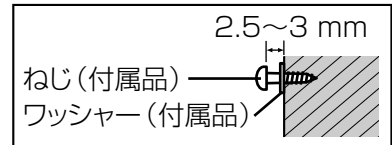
- 1か月以上使用しないときは、電池パックの性能保持のため、電池パックを外しておいてください。
- 長時間充電台を使用しないとき、ACアダプターをコンセントから抜いておいてください。(抜かないと充電中以外でも電力を消費します)
- 充電端子が汚れていると、充電時間が長くなったり、正しく充電できない場合がありますので、充電端子には直接手を触れないでください。充電端子が汚れてしまった場合は乾いた布でふいてください。
- 充電は周囲の温度が0℃～40℃の間の場所で行ってください。0℃以下や40℃以上のときは正常に充電できないことがあります。
- 本機が圏外の状態です約1時間経過すると、接続装置やドアホン親機との通信を停止し、約1分間、警告音が鳴ります。その場合、圏内に移動した後、本機を充電台に置くか充電台から取り上げる、または、本機のいずれかのボタンを押してください。

充電する

充電台を壁（柱）に取り付ける

充電台を壁や柱に固定して使用することができます。

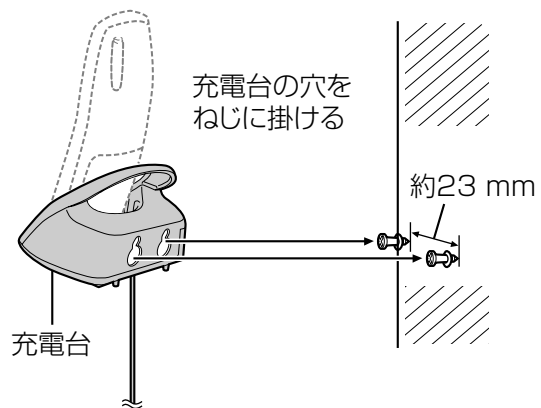
1 付属のねじとワッシャーを壁（柱）に取り付ける。



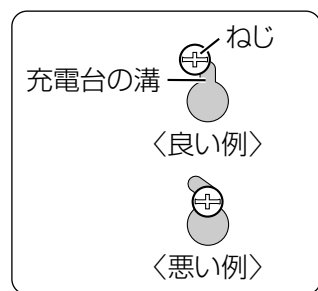
2

充電する

2 充電台の穴をねじに掛ける



3 充電台を右斜めに押し下げ、しっかり固定する

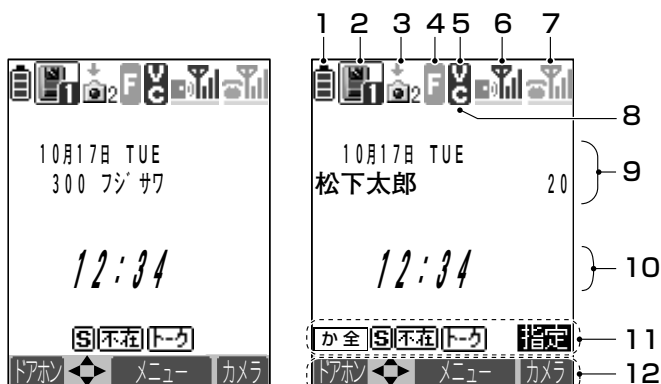


お願い

- 石膏ボード、ALC（軽量気泡コンクリート）、コンクリートブロック、厚さ 18 mm 以下のベニヤ板などの強度の弱い壁には取り付けないでください。

2 液晶表示部の見かた

液晶表示部に表示される画面の各内容は以下のとおりです。



(【IP-Digaport】の場合) (【ラ・ルリエ】の場合)

- 1 電池残量の目安を表示
- 2
 - ・着信中、通話中、モニター中のドアホンやカメラを表示
 - ・画像再生中は、撮影したドアホンやカメラを表示
 - ドアホン1： (ドアホン増設時：)
 - カメラ1： (カメラ増設時：～)
- 3
 - ドアホンやカメラとの通話中やモニター中、またはドアホン内線通話中に、呼び出してきた機器を表示
 - ドアホン1： (ドアホン増設時：)
 - カメラ1： (カメラ増設時：～)
- 4 (⇒64 ページ)
ドアホン親機の機能設定 (電気錠など) 時に表示
- 5 (⇒68 ページ)
ボイスチェンジ中に表示
- 6
 - ・カラーテレビドアホン使用時の電波の強さ (強い： → 弱い：) を表示
 - ・電波の届かない場所にいるときは「」と表示
- 7
 - ・【IP-Digaport】または【ラ・ルリエ】使用時の電波の強さ (強い： → 弱い：) を表示
 - ・電波の届かない場所にいるときは「」と表示
- 8 (⇒78 ページ)
ミュート中に表示
- 9 日付・名前・操作情報表示
日付、曜日、名前、内線番号や操作情報などを表示
- 10 時刻・操作情報表示
時刻や操作情報などを表示
- 11 設定状態表示
設定されている状態を表示
 - ：文字入力時に入力モードを表示 (漢字表示が可能な主装置の場合)
 - ：アラーム設定時に表示 (入力モードの表示位置に表示されます。文字入力時は表示されません。)
 - ：サイレント設定時に表示 (⇒30 ページ)
 - ：不在設定、不在転送や自動転送 (個別着信) 設定時に表示
 - ：内線トークバック設定時に表示
 - ：指定電話機設定時に表示 (【ラ・ルリエ】のみ)
- 12 ソフトキー表示 (⇒26 ページ)
ソフトキーの操作項目を表示

2

液晶表示部の見かた

お知らせ

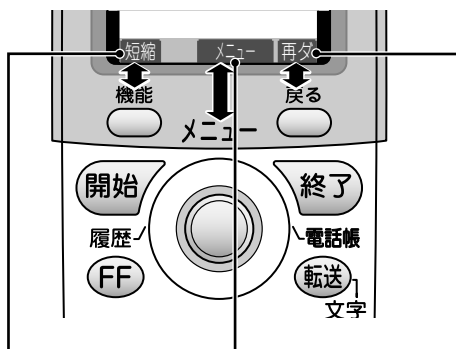
- 【ラ・ルリエ】で本機を指定電話機に設定し、かつオプションの専用電池またはオプションの外付けバッテリー (蓄電池) が主装置に実装されていない場合、画面に「警告：停電電池未実装」と表示されます。

2 知っておきたいボタンの使いかた

ソフトキー

各機能の設定／操作中に画面の下部に **短縮**、**ドアホン**、**メニュー**、**再々**、**カメラ** などの操作項目が表示されます。

これらの操作項目を選択する場合は、その位置に対応するソフトキー（**機能** ボタン、**戻る** ボタン（コマンドナビキー）、**戻る** ボタン）を押します。



ここに表示がある場合、**機能** ボタンを押すと表示に応じた操作ができます。
待ち受け中に **FF** ボタンを約2秒以上押しと表示が切り替わります。

【例】

短縮：短縮番号で電話をかけるときに利用します。
(→31ページ)

FF ボタンを約2秒以上押しと切り替わる

ドアホン：ドアホン周辺の映像を表示します。(→59ページ)

ここに表示がある場合、**戻る** ボタン（コマンドナビキーの中心）を押すと表示に応じた操作ができます。

【例】

メニュー：メニュー画面を表示します。

ここに表示がある場合、**戻る** ボタンを押すと表示に応じた操作ができます。

待ち受け中に **FF** ボタンを約2秒以上押しと表示が切り替わります。

【例】

再々：再ダイヤルするときに利用します。(→32ページ)

FF ボタンを約2秒以上押しと切り替わる

カメラ：カメラ周辺の映像を表示します。(→60ページ)

お知らせ

- 動作モード (→83ページ) が「電話」、または本機をドアホン親機に登録していない場合、**ドアホン**、**カメラ** のソフトキーは利用できません。
- 動作モード (→83ページ) が「ドアホン」、または本機を内線電話機として登録していない場合、**短縮**、**再々** のソフトキーは利用できません。

2

知っておきたいボタンの使いかた






コマンドナビキー



コマンドナビキーを操作することにより、電話帳の検索画面表示や履歴画面表示、および画像の再生や明るさの変更などを行うことができます。

また、本機の設定やシステムの各種設定を簡単な操作で行うことができます。

コマンドナビキーの基本的な動作について


コマンドナビキーの基本的な動作は次のとおりです。

ボタン 表記	状態	待ち受け中	項目の選択、画像再生時
	上を 押す	電話機のメニュー画面を表示※2	<ul style="list-style-type: none"> ・1行上の項目にカーソル※1が移動、1行目の場合は、前の画面へ移動 ・画像再生時、次の画像の再生
	下を 押す	_____	<ul style="list-style-type: none"> ・1行下の項目にカーソル※1が移動、最終行の場合は、次の画面へ移動 ・画像再生時、前の画像の再生
	左を 押す	電話機の履歴画面を表示※2	<ul style="list-style-type: none"> ・前の画面へ移動 ・明るさを変更
	右を 押す	電話機の電話帳検索画面を表示※2	<ul style="list-style-type: none"> ・次の画面へ移動 ・明るさを変更
	真ん中 を押す	電話機のメニュー画面を表示※2 ※2秒以上押すと、 機能メニューを表示	<ul style="list-style-type: none"> ・項目を確定 ・ソフトキーとして動作


※1：カーソルとは、メニューなどに表示される「」や「 」のことをいいます。「」は、その項目が選択されていることを表します。

※2：画面表示後、コマンドナビキーを操作して漢字表示付電話機と同様に、電話帳の検索や履歴から電話をかけたり、登録されている機能を利用することができます。画面表示後の操作については「IP-Digaport」または「ラ・ルリエ」の取扱説明書をご覧ください。

上記の表はコマンドナビキーの基本的な動作を表しており、本機の状態によっては動作やコマンドナビキーで可能な操作が異なる場合があります。各機能を実行する時の動作やコマンドナビキー操作の詳細については、それぞれの説明をご覧ください。

コマンドナビキーを使用した操作については、 **ナビ操作** のマークの付いた操作手順をご覧ください。

お知らせ

- コマンドナビキー操作時、何も操作が行われずに一定時間経過するとコマンドナビキー操作を終了します。コマンドナビキー操作を終了するまでの時間は変更することができます。 **取付け時設定**

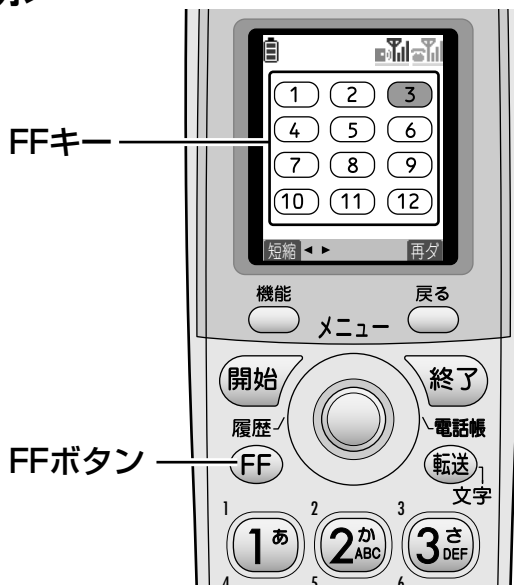
知っておきたいボタンの使いかた

FFボタン

本機は、「IP-Digaport」または「ラ・ルリエ」の多機能電話機と同様に、FFボタン機能を利用することができます。

待ち受け中にFFボタンを押すことにより画面にFFキーが表示され、電話をかけたり、設定されている機能を動作させたりできます。また、外線の使用状況や保留の状態などをFFキー表示から確認することもできます。

<例>



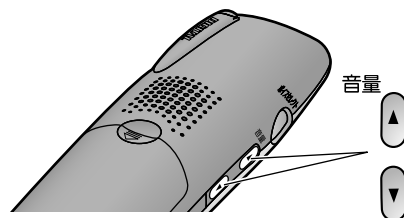
- ・ FFボタンを押すとFFキーが表示されます。
- ・ FFキーの表示内容から対応する外線の使用状況を確認することができます。(⇒36ページ)
- ・ FFキーの番号を選択する場合は、FFキーの番号に対応するダイヤルボタンを押します。(⇒35ページ)

2

知っておきたいボタンの使いかた

2 音量を調節する

側面の音量ボタンを押すことで、呼出音の大きさを変えられます。



音量を調節する

電話、ドアホン、カメラからの呼出音量をそれぞれ3段階で調節できます。

ナビ操作

待ち受け中に

1 側面の ▲ または ▼ を押す



- 呼出音量画面が表示されます。

2 ◀▶ で変更したい機器のマークを選択する

例：電話を選択した場合



- ☎：電話
- 🔔：ドアホン
- 📷：カメラ

3 側面の ▲ または ▼ で音量を変更する



- 🔊：音量「小」
- 🔊：音量「中」
- 🔊：音量「大」

- ▲ を押すと音量が大きくなり、▼ を押すと音量が小さくなります。
- 音量を変更すると、変更した音量で呼出音が鳴ります。
- 約5秒間何も操作しないと、待ち受け画面に戻ります。

2

音量を調節する

お知らせ

- 電話、ドアホン、カメラからの着信中／通話中は、▲ または ▼ を押すだけで、それぞれの呼出音量／受話音量を変更できます。変更した音量は着信／通話を終了した後も有効になります。
- ドアホン／カメラとの通話中の受話音量の変更は2段階での変更になります。
- 電話通話中に受話音質を調節することもできます。(⇒44ページ)
- 呼出音を鳴らないようにする(サイレントモード)することもできます。(⇒30ページ)
- サイレントモード(⇒30ページ)中は呼出音量を調節できません。画面に「サイレントモード中設定変更できません」と表示されます。サイレントモードを解除してから調節してください。

音量を調節する

呼出音を鳴らないようにする（サイレントモード）


側面の音量ボタンを押すことで、電話、ドアホン、カメラからの呼出音を鳴らないようにすることができます。

サイレントモードにする

待ち受け中に

1 側面の を2秒以上押す




- 画面に「設定しました」と表示された後、（サイレント）表示がされます。

サイレントモードを解除する

待ち受け中に

1 側面の または を2秒以上押す



- 画面に「解除しました」と表示された後、（サイレント）表示が消えます。

2

音量を調節する

お知らせ

- 着信中にサイレントモードを解除することはできません。
- 着信中にワンタッチ操作で呼出音を停止することもできます。（クイックサイレント）
- 着信時、開始ボタンのランプが点滅して、着信をお知らせします。
- サイレントモード中は、内線音声呼出など相手の声で着信をお知らせする操作（→32ページ）で呼び出された時の声も聞こえません。




着信中に呼出音を停止する（クイックサイレント）

着信中に呼出音をワンタッチ操作で停止することができます。

着信中に

1 を押す



- 呼出音が停止します。
- 画面に（サイレント）が表示されます。
-  を押すと、相手と通話ができます。通話を終了すると、クイックサイレントは解除されます。その際、画面の（サイレント）表示が消えます。

お知らせ

- クイックサイレント中は、内線音声呼出など相手の声で着信をお知らせする操作（→32ページ）で呼び出された時の声も聞こえません。
- 着信中に本機を充電台に置いて呼出音を停止することもできます。

3 電話をかける

本機を「IP-Digaport」または「ラ・ルリエ」に接続することにより内線電話機として使用することができます。内線電話機として使用する場合はそれぞれのシステムの取扱説明書をご覧ください。

外線へ電話をかける

1 ボイスチェンジ **発信** を押す

- 開始ボタンのランプが点灯します。
- 「ツーン」という音が聞こえます。

2 相手の電話番号と **#** を押す

- 画面に電話番号が表示されます。
- 相手とつながったら通話ができます。
- 通話中は通話時間が表示されます。

3 通話が終わったら **終了** を押す

- 待ち受け画面に戻ります。

📖 操作のヒント

- 電話（アナログ）回線で外線へ電話をかけるときは、相手の電話番号のあとにダイヤルする **#** は必要ありません。
- 本機を充電台に置くことで通話を終了することもできます。

📄 お知らせ

- ボイスチェンジ **発信** を押してから、約 15 秒間ダイヤル操作がないときは、待ち受け画面に戻ります。
- 間違い電話を防ぐため、電話番号は正確にダイヤルしてください。
- 通話中に本機の送話口を手で覆っても声が相手に聞こえることがあります。相手に声が聞こえないようにしたい時は保留を行ってください。（➡42ページ）

短縮番号で電話をかける

共通短縮ダイヤルや個人短縮ダイヤルで電話をかけることができます。

1 機能 **短縮** を押す

- 画面に「A」が表示されます。

2 短縮番号を押す

3 ボイスチェンジ **発信** を押す

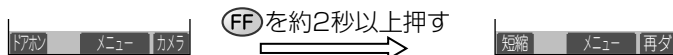
- 開始ボタンのランプが点灯します。
- 相手とつながったら通話ができます。
- 通話中は通話時間が表示されます。

4 通話が終わったら **終了** を押す

- 待ち受け画面に戻ります。

📖 操作のヒント

- ソフトキー表示が **トアボ** の場合、**FF** を約 2 秒以上押し、**短縮** を表示させてから手順 1 を行ってください。



- 本機を充電台に置くことで通話を終了することもできます。
- 手順 3 で **開始** を押して、電話をかけることもできます。

電話をかける

再ダイヤルする

最後に電話をかけた相手に簡単な操作で電話をかけることができます。

1 (再ダ) を押す

2 を押す

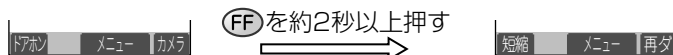
- 開始ボタンのランプが点灯します。
- 相手とつながったら通話ができます。
- 通話中は通話時間が表示されます。

3 通話が終わったら を押す

- 待ち受け画面に戻ります。

操作のヒント

- ソフトキー表示が **カメラ** の場合、 を約2秒以上押し、**再ダ** を表示させてから手順1を行ってください。



- 本機を充電台に置くことで通話を終了することもできます。
- 手順2で を押して、電話をかけることもできます。

内線へ電話をかける

1 を押す

- 開始ボタンのランプが点灯します。

2 内線番号を押す

- 相手とつながったら通話ができます。
- 通話中、相手の内線番号（内線名）が表示されます。

3 通話が終わったら を押す

- 待ち受け画面に戻ります。

操作のヒント

- 本機を充電台に置くことで通話を終了することもできます。

お知らせ

- 内線番号を押したあとに を押して電話をかけることもできます。
- 音声で呼び出す（内線音声呼出）には、内線番号の後に を押して呼びかけます。
- 通話中に本機の送話口を手で覆っても声が相手に聞こえることがあります。相手に声が聞こえないようにしたい時は保留を行ってください。（➡43ページ）

3

電話をかける

3 電話を受ける

外線の電話を受ける

1 着信音が鳴る

- 開始ボタンのランプが点滅します。

2 を押す

- 開始ボタンのランプが点灯します。
- 相手とつながったら通話ができます。
- 通話中は通話時間が表示されます。



3 通話が終わったら を押す

- 待ち受け画面に戻ります。

操作のヒント

- 本機を充電台に置くことで通話を終了することもできます。

お知らせ

- 「ラ・ルリエ」で上記の操作を行って外線の電話を受ける場合、主装置の設定が必要です。
 取付け時設定
- FF ボタンを押して FF キーを表示させて、電話を受けることもできます。(➡40 ページ)
- 着信時に自動的に FF キーを表示させることができます。(➡41 ページ)
- キャッチホンサービスを受ける場合、 を押してください。
- 発信者の電話番号が外線電話帳に登録されている場合には、電話番号と併せて電話帳に登録された名前が表示されます。
- 本機が呼び出されているときに、圏外など、電波が届かない状態になった場合、その時点で着信音が停止します。ただし、発信者側は電話の呼び出しが継続します。
その場合、すぐに接続装置、または中継アンテナの近くに移動してください。再度、着信音が鳴り、電話を受けることができます。
- 通話中に本機の手話口を手で覆っても声が相手に聞こえることがあります。相手に声が聞こえないようにしたい時は保留を行ってください。(➡42 ページ)

3

電話を受ける

内線の電話を受ける

1 着信音が鳴る

- 開始ボタンのランプが点滅します。

2 を押す

- 開始ボタンのランプが点灯します。
- 相手とつながったら通話ができます。

3 通話が終わったら を押す

- 待ち受け画面に戻ります。

操作のヒント

- 着信中に充電台から本機を取り上げるだけで電話を受けることもできます。(→76ページ)
- 本機を充電台に置くことで通話を終了することもできます。

お知らせ

- 内線から電話がかかってきた場合には、電話をかけた人の内線番号が表示されます。
- 内線電話帳に名前が登録されている場合、名前が表示されます。
- 本機が呼び出されているときに、圏外など、電波が届かない状態になった場合、その時点で着信音が停止します。ただし、発信者側は電話の呼び出しが継続します。
その場合、すぐに接続装置、または中継アンテナの近くに移動してください。再度、着信音が鳴り、電話を受けることができます。
- 通話中に本機の話口を手で覆っても声が相手に聞こえることがあります。相手に声が聞こえないようにしたい時は保留を行ってください。(→43ページ)

3


電話を受ける

内線音声呼出に受話器を取らずに応答する(内線トークバック)

1 音声がか聞こえる

- 開始ボタンのランプが点滅します。

2 本機に向かって話す

- 充電台から本機を取り上げたあと、 を押して通話することもできます。

操作のヒント

- 相手の音声がか聞こえている間に応答した場合、相手に聞こえる音声かとぎれる場合があります。相手からの話が終了してから、応答してください。

お知らせ

- 「IP-Digaport」で、ダイヤルボタンを操作して内線トークバックを設定、または解除する場合、以下の操作を行ってください。

1  → 2  → 3  → 4  → 5 

- 「ラ・ルリエ」で、ダイヤルボタンを操作して内線トークバックを設定、または解除する場合、以下の操作を行ってください。

1  (短縮) → 2  → 3  → 4  → 5 

3 FFキーを利用する

FFボタンの基本的な操作について

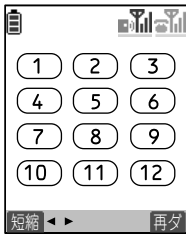
本機は、多機能電話機と同様に、FFボタン機能を利用することができます。FFボタンを押してFFキーを表示させ、外線ボタンとして利用して電話を受けたり、かけたり、保留応答をすることができます。また、FFキーに設定されている機能を動作させることもできます。FFキーへの機能の設定は、「IP-Digaport」または「ラ・ルリエ」の取扱説明書の「FFキーに機能を設定する」をご覧ください。

例：外線発信する場合

1 待ち受け中に **開始** 押す

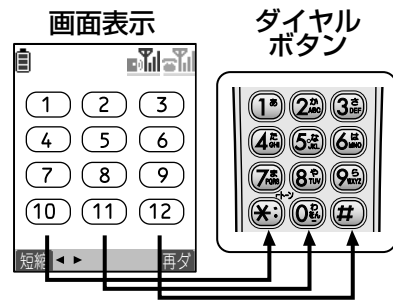
- 開始ボタンのランプが点灯します。

2 **FF** 押す



- FFキーが表示されます。
- **←○→** を押すと、FFキーの機能名を表示させることができます。(→37ページ)
- FFキーの状態に対応する外線の状態が分かります。(→36ページ)

3 発信したい外線 (FFキー) に対応するダイヤルボタンを押す



- FFキー1 (外線番号01) を選択するには、**1** を押してください。

外線が選択され画面が切り替わってから

4 相手の電話番号を押す

📖 操作のヒント

- 手順3でソフトキー表示が**短縮**、**再ダイヤル**の場合、短縮、再ダイヤルを利用できます。

	短縮	再ダイヤル
ソフトキー表示	短縮	再ダイヤル
操作するボタン	機能	戻る

機能 を押して、**短縮** を選択した場合の操作については「短縮番号で電話をかける」(→31ページ)、**機能** を押して、**再ダイヤル** を選択した場合の操作については「再ダイヤルする」(→32ページ)をそれぞれ参照してください。

📌 お知らせ

- 手順1で**開始**を押したときに、自動的にFFキーを表示させることができます。(→41ページ)
- 手順2で**FF**を押したときに、機能名も表示させるように設定することができます。(→85ページ)
- FFキーを選択する場合は、FFキーに対応するダイヤルボタンを押してください。FFキーを表示している液晶表示部を押しても選択することはできません。

3

FFキーを利用する

FFキーを利用する

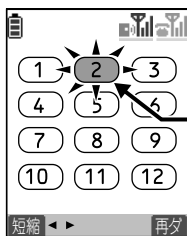
FFキーの状態確認

FFボタンを押して、FFキーに登録されている外線の状態を確認することができます。

1 (FF) 押す

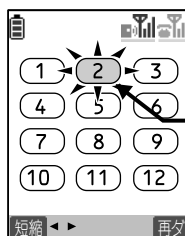
- 外線の状態をFFキーの表示内容から確認することができます。

外線着信中



着信している外線のFFキーが赤色に点滅します。
FFキーに対応するダイヤルボタンを押して着信を受けることができます。

保留中

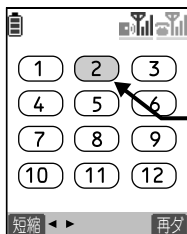


自分が保留している外線のFFキーが緑色に点滅します。
他の人が保留中の外線のFFキーは赤色に点滅します。

3

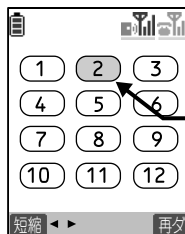
FFキーを利用する

外線通話中



自分が使用している外線のFFキーが緑色に点灯（2秒に1回一瞬点滅）します。

他者通話中



他の人が通話中の外線のFFキーが赤色に点灯します。

お願い

- 待ち受け中に 、または （メニュー）を押して電話機のメニュー画面を表示させたあとは、(FF) を押しても状態を確認することはできません。
状態を確認する時は待ち受け中、または を押したあとに画面が切り替ってから (FF) を押してください。
- 電話機のメニュー画面を表示している状態からFFキーを表示させたい場合、 を押して待ち受け中にするか、または を押したあとに画面が切り替ってから (FF) を押してください。

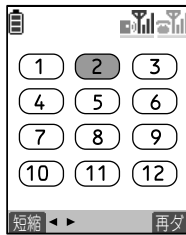
お知らせ

- 手順1で(FF)を押したときに、機能名も表示させるように設定することができます。(→85ページ)
- 外線着信時および、保留時に(FF)を押すことなく自動的にFFキーを表示させることができます。(→41ページ)

FFキーの機能名を表示する

FFキーの表示画面を切り替えて機能名を表示させてから機能を利用することができます。機能名の表示方法は、FFキーの下に機能名を簡易的に表示させる方法（ボタン表示）と機能名をリスト形式で表示させる方法（リスト表示）の2種類があります。

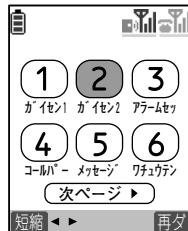
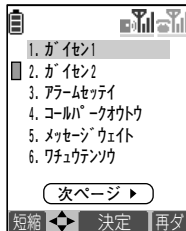
1 待ち受け中に (FF) 押す



- FFキーが表示されます。

2 (FF) 押す

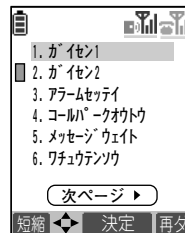
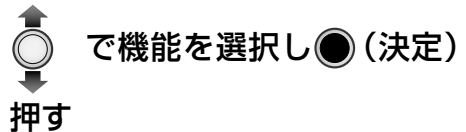
<リスト表示の場合> <ボタン表示の場合>



- FFキーの機能名を表示した表示画面に切り替わります。
- お買い上げ時は「リスト表示」に設定されています。
- 「ボタン表示」にする場合、設定が必要です。(⇒85ページ)
- (FF) でページが切り替わります。

3 利用したい機能を選択する

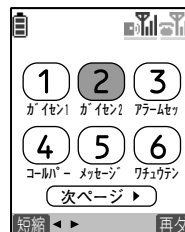
<リスト表示の場合>



- 番号の前に表示されている ■ にボタン表示画面の各FFキーの色と点滅パターンが表示されます。外線の状態 (⇒36ページ)、不在設定時やメッセージが登録された時などの状態を確認することができます。
- (FF) を約2秒以上押し続けるとカーソルがスクロールします。
- (FF) でページが切り替わります。

<ボタン表示の場合>

利用したい機能に対応するダイヤルボタンを押す



- (FF) でページが切り替わります。

3

FFキーを利用する

お知らせ

- 機能の使用状況の表示は、多機能電話機のFFボタンのランプ表示と同じになります。「IP-Digaport」または「ラ・ルリエ」の取扱説明書をご覧ください。

FFキーを利用する

お知らせ

- 手順1で **FF** を押した時の表示をリスト表示、またはボタン表示の表示画面にすることができます。(➡85ページ)
- 手順2の表示方式(リスト表示/ボタン表示)は「FFキー機能名」(➡85ページ)で設定することができます。
- FFキーに機能を設定する方法は、「IP-Digaport」または「ラ・ルリエ」の取扱説明書の「FFキーに機能を設定する」をご覧ください。
- FFキーに機能を設定しても、名称は設定されません。機能名の名称はあらかじめ編集しておく必要があります。
機能名の名称の編集方法はそれぞれ下記をご覧ください。

「IP-Digaport」の場合	「ラ・ルリエ」の場合
「IP-Digaport」の取扱説明書の「2.4Gカラーデジタルコードレス電話機のFFキーの名称を登録する」	本取扱説明書の「FFキーの機能名を編集する」(➡91ページ)

3

FFキーを利用する

FFボタンを使って外線へ電話をかける

FFボタンを押してFFキーを表示させ、外線を指定して電話をかけることができます。

1 押す

- 開始ボタンのランプが点灯します。

2 押す

- FFキーが表示されます。
- 他の人が通話中の外線に対応するFFキーは赤色点灯になります。

3 空いている外線のFFキーに対応するダイヤルボタンを押す

- 「ツーン」という音が聞こえます。
- FFキー10～FFキー12を選択する場合は以下のダイヤルボタンを押してください。(⇒35ページ)

選択したいFFキー	FFキー10	FFキー11	FFキー12
FFキーの画面表示			
操作するダイヤルボタン			

4 電話番号を押す

- 画面に電話番号が表示されます。
- 相手とつながったら通話ができます。
- 通話中は通話時間が表示されます。

5 通話が終わったら 押す



- 待ち受け画面に戻ります。

3

操作のヒント

- 使用中のFFキーに対応するダイヤルボタンを押しても電話をかけることはできません。
- 外線が設定されていないFFキーに対応するダイヤルボタンを押しても電話をかけることはできません。

お知らせ

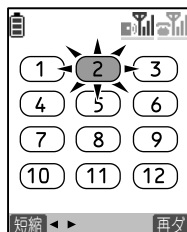
- 手順1で  を押したときに、自動的にFFキーを表示させることができます。(⇒41ページ)
- 手順2で  を押したときに、機能名も表示させるように設定することができます。(⇒85ページ)
- 間違い電話を防ぐため、電話番号は正確にダイヤルしてください。

FFキーを利用する

FFボタンを使って外線の電話を受ける

FFボタンを押してFFキーを表示させ、外線の電話を受けることができます。

1 (FF) 押す



- 着信中の外線に対応するFFキーが赤色点滅します。
- 他の人が通話中の外線に対応するFFキーは赤色点灯になります。

2 点滅しているFFキーに対応するダイヤルボタンを押す

- 相手とつながったら通話ができます。
- 通話中は通話時間が表示されます。
- FFキー10～FFキー12を選択する場合は以下のダイヤルボタンを押してください。(⇒35ページ)

選択したいFFキー	FFキー10	FFキー11	FFキー12
FFキーの画面表示	(10)	(11)	(12)
操作するダイヤルボタン	(*)	(0)	(#)

3 通話が終わったら「終了」押す

- 待ち受け画面に戻ります。

3

FFキーを利用する

📌 お知らせ

- 着信時に自動的にFFキーを表示させることができます。(⇒41ページ)
- 通話中、(FF)を押してFFキーを表示すると、該当の外線に対応するFFキーは緑色の点灯(2秒に1回一瞬点滅)になります。

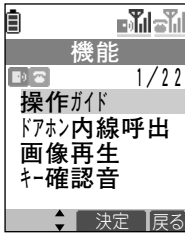
FFキーを自動的に表示させる

開始を押した時、外線着信時、保留時にFFキーを自動的に表示させることができます。

ナビ操作

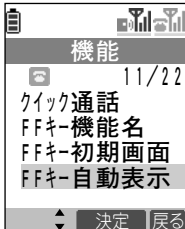
待ち受け中に

1 ● (メニュー) を2秒以上押す



● 機能メニューが表示されます。

2 ● で「FFキー自動表示」を選択し● (決定) を押す



<設定項目の詳細>

「○」が付いた項目はFFキーの自動表示が有効になります。(お買い上げ時：OFF)

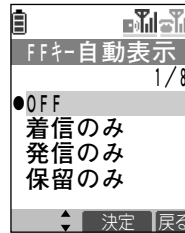
発信：待ち受け中に開始を押した時、またはクイック通話設定時(➡75ページ)に充電台から本機を取り上げた時

着信：待ち受け中に電話を受けた時
※着信の種類によっては自動表示されません。

保留：通話を保留した時

設定項目	発信	着信	保留
OFF	—	—	—
着信のみ	—	○	—
発信のみ	○	—	—
保留のみ	—	—	○
着信/発信	○	○	—
着信/保留	—	○	○
発信/保留	○	—	○
全て	○	○	○

3 ● で設定項目を選択し● (決定) を押す



各設定項目の詳細は<設定項目の詳細>をご覧ください。

- 設定した内容に変更されます。
- 設定項目の左側に「●」が付いている項目が現在設定されている項目です。

4 ● を押す

- 待ち受け画面に戻ります。

操作のヒント

- 手順3で● (決定) を押さないと設定内容は確定しません。

お知らせ

- 設定中に着信があったときや、約60秒間操作を行わなかったときは、設定を終了します。
- 自動的に表示されたFFキーを消すには、(FF) を押ししてください。
- 保留時にFFキーを自動的に表示させる設定をしている場合、(保留) を押して、保留ができなくても、FFキーが表示される場合があります。その場合、(FF) を押すことで、FFキーの表示を消すことができます。

3

FFキーを利用する

3 電話を保留・転送する

外線通話を保留する（通話中、待ってもらう）

通話中に

1 保留を押す

- 通話が保留され、相手には保留音が流れます。

お知らせ

- 保留時に自動的にFFキーを表示させることができます。（⇒41ページ）

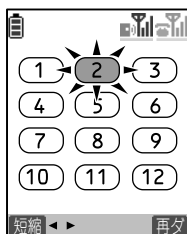
外線保留に回答する

上記の操作または他の電話機で保留した外線通話に回答することができます。

例：FFキー2（②）に保留された通話に回答する場合

保留した外線通話があるときに

1 FFを押す



- 他の電話機で保留した外線に対応するFFキーは赤色、自分で保留した外線に対応するFFキーは緑色にそれぞれ点滅します。

2 点滅しているFFキーに対応するダイヤルボタンを押す

- 相手と通話ができます。
- 開始ボタンのランプが点灯します。
- FFキー10～FFキー12を選択する場合は以下のダイヤルボタンを押してください。（⇒35ページ）

選択したいFFキー	FFキー-10	FFキー-11	FFキー-12
FFキーの画面表示	⑩	⑪	⑫
操作するダイヤルボタン	✳	0	#

お知らせ

- 手順1でFFを押したときに、機能名も表示させるように設定することができます。（⇒85ページ）
- 手順2の実行後、FFを押してFFキーを表示すると、該当の外線に対応するFFキーは緑色の点灯（2秒に1回一瞬点滅）になります。
- 保留中のFFキーの点滅は着信時に比べて遅い点滅になります。

内線通話を保留する（通話中、待ってもらおう）

1 通話中に 保留を押す

- 通話が保留されます。

2 通話に戻るとき 保留を押す

- 通話に戻ります。

外線／内線通話を他の内線に転送する

1 通話中に 保留を押す

- 通話が保留され、相手には保留音が流れます。

2 転送先の内線番号を押す

3 転送先が応答したら、電話が入っていることを伝える

- 転送先が応答しないとき／転送をやめるときは、開始を押したあとに保留を押してください。保留中の外線／内線通話に戻ります。


4 転送文字を押す

- 保留した通話が転送されます。
- 終了を押すと待ち受け画面に戻ります。

📖 操作のヒント

- 保留時にFFキーを自動的に表示させるように設定している（→41ページ）場合、手順1のあとにFFを押す、FFキーの画面を消してから手順2を実行してください。

📌 お知らせ

- 手順3で保留を押して、外線通話に戻る場合、主装置の設定が必要です。 取付け時設定

3

電話を保留・転送する

3 音質を調節する(ボイスセレクト機能)

側面のボイスセレクトボタンを押すことで通話中の相手の声の音質を調節することができます。
相手の声が聞き取りにくいときなどに便利です。



音質を調節する

通話中の相手の声の音質を「低域強調」、「標準」、「高域強調」の3段階で調節できます。

通話中に

1 側面のボイスセレクトボタンを押す



- ボイスセレクトの設定画面が表示されます。

- ボイスセレクトボタンを押すごとに音質が切り替わります。

低域強調 : 低 [] 高

標準(お買い上げ時) : 低 [] 高

高域強調 : 低 [] 高

- 約5秒間何も操作しないと、通話中画面に戻ります。

3

音質を調節する(ボイスセレクト機能)

お知らせ

- 設定した音質は通話を終了した後も有効になります。
- ドアホン通話、カメラ通話に対して本機能は利用できません。
- 待ち受け中にボイスセレクトボタンを押して、ボイスセレクト機能を有効にすることはできません。

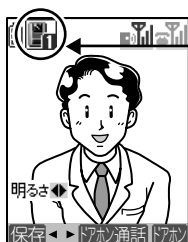
4 ドアホンからの呼び出しに回答する

ドアホンからの呼び出しに回答する

ドアホンから呼び出しがあると、呼出音と映像でお知らせします。

ナビ操作

1 呼出音が鳴る



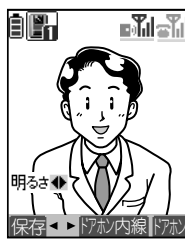
呼び出してきた
ドアホンを表示

: ドアホン1

: ドアホン2

- 呼び出してきたドアホンからの映像が画面に表示され、ソフトキー表示の「ドアホン通話」が点滅します。

2 (ドアホン通話) を押す



- 通話ができます。
- 相手の声はスピーカーから聞こえます。

3 通話が終わったら を押す

- ドアホン通話を終了します。

操作のヒント

- 手順2で (ドアホン通話) の代わりに (ドアホン) を押すと、ドアホンモニター (→59 ページ) の状態になります。ドアホンモニターの状態になると、ドアホン周辺の映像が表示され、スピーカーから周囲の音が聞こえます。ただし、こちら側の声はドアホン側には聞こえません。
- 本機を充電台に置くことでドアホン通話を終了することもできます。
- ドアホン通話中は以下のことができます。
 - 画像の明るさを変える (5段階)
 - で画像が明るくなり、 で画像が暗くなります。
 - 受話音量 (スピーカー音) を変更する
側面の を押すと音量が大きくなり、 を押すと音量が小さくなります。(→29 ページ)
 - 画像を保存する
 (保存) を押すと画像が保存されます。(→51 ページ)
※ ドアホン親機が VL-MW150K/VL-MW130K の場合、音声付きの画像として保存することもできます。
詳細はドアホン親機の取扱説明書をご覧ください。
 - 画像を拡大表示する
 を押すと画像が大きく (拡大) なり、 を押すと画像が小さく (縮小) になります。(→46 ページ)
 - 自分の声を変える (ボイスチェンジ)
ドアホン通話中に を押すと自分の声が変わります。(→68 ページ)
 - 相手の声を受話口から聞く
ドアホン通話中に を押すと相手の声が受話口から聞こえます。
再度、 を押すと、相手の声がスピーカーから聞こえるように戻ります。
- 手順2で (ドアホン通話) の代わりに (ドアホン) を押してもドアホン通話をすることができます。
- ドアホンやカメラからの画像を最大100枚まで保存することができます。ただし、「4枚で1セット」で保存した画像の場合、1セット (4枚) を1枚として数えます。
詳細はドアホン親機の取扱説明書をご覧ください。
- ドアホンやカメラからの画像の保存については51 ページ、保存した画像の再生については52 ページをそれぞれご覧ください。

ドアホンからの呼び出しに回答する

お知らせ

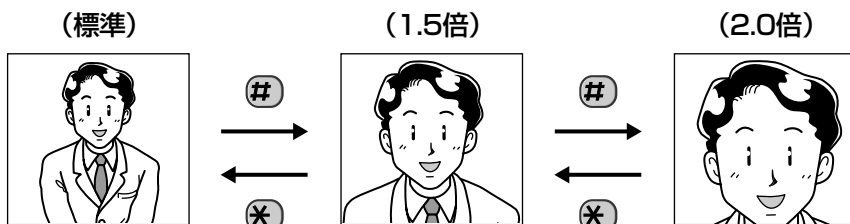
- ドアホンから呼び出されている間、電話をかけることはできません。ドアホンからの呼び出しに対応したあと、電話をかけてください。
- 呼び出しは約 30 秒で自動的に終了し、映像が消えます。
- 夜間などドアホン側が暗いときは白黒映像になります。

画像を拡大・縮小表示する

表示中の画像が小さくて見えにくいときは、最大2倍まで拡大表示できます。

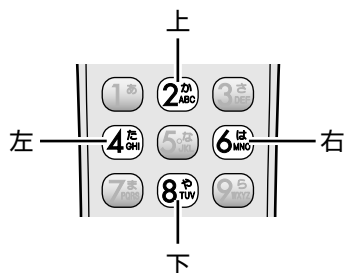
画像を拡大/縮小するには

画像表示中に **#** (画像を拡大)、または ***** (画像を縮小) を押します。



拡大表示中に画像を動かすには

下記ボタンを押すごとに画像が上下左右に動きます。
標準画像表示中は、左右にのみ、少しだけ動かせます。



お知らせ

- 拡大表示では、映像を引き伸ばして表示するため、画質が低下します。
- 拡大表示中に **機能** (保存) を押した場合でも、保存される画像は標準の大きさです。

カメラからの呼び出しに应答する

人感センサーが反応すると、呼出音と映像でお知らせします。
必要に応じて应答してください。

ナビ操作

1 呼出音が鳴る



呼び出してきた
カメラを表示

: カメラ1

: カメラ2

- 呼び出してきたカメラからの画像が画面に表示されます。

2 ● (カメラ通話) を押す



- 通話ができます。
- 相手の声はスピーカーから聞こえます。

3 通話が終わったら を押す

- カメラ通話を終了します。

操作のヒント

- 手順2で ● (カメラ通話) の代わりに (カメラ) を押すと、カメラモニター (→60ページ) の状態になります。カメラモニターの状態になると、カメラ周辺の映像が表示され、スピーカーから周囲の音が聞こえます。ただし、こちら側の声はカメラ側には聞こえません。
- 本機を充電台に置くことでカメラ通話を終了することもできます。
- カメラ通話中は以下のことができます。
 - 画像の明るさを変える (5段階)
 - ▶ で画像が明るくなり、◀● で画像が暗くなります。
 - 受話音量 (スピーカー音) を変更する
 - 側面の を押すと音量が大きくなり、 を押すと音量が小さくなります。(→29ページ)
 - 画像を保存する
 - (保存) を押すと画像が保存されます。(→51ページ)
 - 画像を拡大表示する
 - を押すと画像が大きく (拡大) なり、 を押すと画像が小さく (縮小) になります。(→46ページ)
 - 自分の声を変える (ボイスチェンジ)
 - カメラ通話中に を押すと自分の声が変わります。(→68ページ)
 - 相手の声を受話口から聞く
 - カメラ通話中に を押すと相手の声を受話口から聞こえます。
 - 再度、 を押すと、相手の声がスピーカーから聞こえるように戻ります。
- 手順2で ● (カメラ通話) の代わりに を押してもカメラ通話を行うことができます。
- ドアホンやカメラからの画像を最大100枚まで保存することができます。ただし、「4枚で1セット」で保存した画像の場合、1セット (4枚) を1枚として数えます。
詳細はドアホン親機の取扱説明書をご覧ください。
- ドアホンやカメラからの画像の保存については51ページ、保存した画像の再生については52ページをそれぞれご覧ください。

ドアホンからの呼び出しに应答する

お知らせ

- カメラから呼び出されている間、電話をかけることはできません。カメラからの呼び出しに対応したあと、電話をかけてください。
- カメラの画質はドアホンよりも多少劣ります。また、下記のような場合があります。
 - ・ 静止画のため、動いている人がぶれる
 - ・ 逆光のとき、人の顔が暗くなる
 - ・ 蛍光灯を映すと、周りがかすんだようになる
 - ・ 色合いが、実際の色と異なる
- カメラ側から話しかけるときは、カメラのマイクに向かって約 50 cm 以内で話してください。

ドアホン通話を保留・転送する

ドアホン通話を保留する

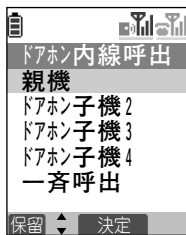
ドアホン通話中に通話を保留することができます。

例：ドアホン通話を保留する場合

ナビ操作

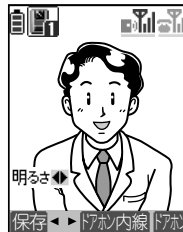
ドアホン通話中に

1 ● (ドアホン内線) を押す




- ドアホン通話が保留され、ドアホン内線呼出画面が表示されます。
- ソフトキー表示の **保留** が点滅します。
- 画面表示は登録されているドアホン子機が4台の場合の例です。

2 ドアホン通話に戻るとき (保留) を押す




- ドアホン通話に戻ります。

操作のヒント

- 保留中に  を押してドアホン通話に戻ることもできます。
- ドアホン親機に本機のみ登録されている場合、手順1の操作を行うと、ドアホン親機を呼び出します。ドアホン通話を保留することはできません。

お知らせ

- 手順2で  を押してもドアホン通話に戻ることはできません。
- カメラ通話を保留することはできません。

ドアホンからの呼び出しに応答する

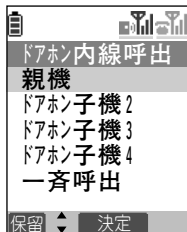
ドアホン通話をドアホン親機またはドアホン子機に転送する

ドアホン通話中にドアホン親機、またはドアホン子機を呼び出して、通話を転送できます。
例：ドアホン通話中にドアホン親機を呼び出して通話を転送する場合

ナビ操作

ドアホン通話中に

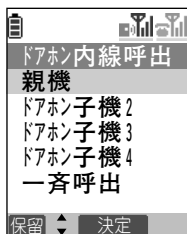
1 ● (ドアホン内線) を押す



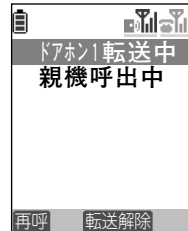
- ドアホン通話が保留され、ドアホン内線呼出画面が表示されます。
- ソフトキーの **保留** が点滅します。
- ドアホンとの通話に戻る場合は **機能** (保留) を押します。
- 画面表示は登録されているドアホン子機が4台の場合の例です。

2 ● で転送したい相手を選択し

● (決定) を押す



3 相手に呼びかける



(例：ドアホン親機を呼び出した場合)

- 相手が応答しない場合、**機能** (再呼) を押すと、再度呼出音で相手呼び出します。

4 相手が応答したら通話を転送することを伝え、**終了** を押す

- 本機とドアホンとの通話が切れ、転送先の相手がドアホンと通話できます。
- 相手が応答したあと、● (転送解除) を押す、またはドアホン親機と通話の場合、ドアホン親機側が通話を終了すると転送をせずにドアホン通話に戻ります。

📖 操作のヒント

- 手順4で本機を充電台に置いて通話を転送することもできます。
- ドアホン親機に本機のみ登録されている場合、手順2で呼び出したい相手を決めずに、ドアホン親機を呼び出すことができます。

📢 お知らせ

- ドアホン親機やドアホン子機との通話中の音声は、ドアホン側の相手には聞こえません。

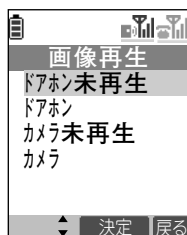
画像を保存する

在宅自動録画・自動録画について

待ち受け中の本機にドアホン・カメラから呼び出しがあると、ドアホン・カメラからの画像が自動的にドアホン親機に保存されます。（ドアホン親機がVL-MW150K/VL-MW130Kの場合、在宅自動録画機能、VL-MW104Kの場合、自動録画機能とそれぞれ呼びます）

ドアホン親機の設定、および自動録画されない条件など自動録画機能の詳細は、ドアホン親機の取扱説明書をご覧ください。

- 保存された画像は本機から再生することができます。呼び出しに応答しなかった画像も未再生画像として再生することができます。画像を再生する方法は52ページをご覧ください。



ドアホンの未再生画像が保存されています。
 すべてのドアホンの画像が保存されています。
 カメラの未再生画像が保存されています。
 すべてのカメラの画像が保存されています。

留守録画について

ドアホン親機がVL-MW150K/VL-MW130Kの場合、留守中の画像を「留守録画」として保存することができます。ドアホンからの映像を音声付きの画像として録画することもできます。ドアホン親機の設定、および留守録画されない条件など留守録画機能の詳細は、ドアホン親機の取扱説明書をご覧ください。

- 留守録画で一度も再生していない画像は本機から再生することができません。ドアホン親機、またはドアホン子機（VL-W603）から再生してください。一度、再生した画像は本機から再生することができます。
- 留守設定がされている場合にドアホンから呼び出しがあった時、本機が呼び出されます。ただし、本機からドアホン親機が留守応答中であることを確認することはできません。また、その際、（ドアホン）を押して応答することはできません。
- （ドアホン通話）を押して応答してください。

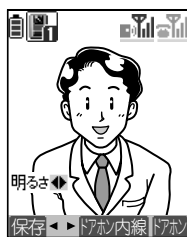
手動で画像を保存する

着信中、通話中、モニター中のドアホンまたはカメラ映像を、必要に応じて手動で録画することができます。

例：ドアホン通話中の場合

1 映像を録画（保存）したいとき

に、（保存）を押す



- 映像がドアホン親機に保存されます。

お知らせ

- （保存）を押してから録画されるまで時間差が生じます。このため、（保存）を押したときの映像と実際に録画された画像が異なることがあります。
- 保存した画像を本機で再生することができます。（⇒52ページ）
- ドアホン親機がVL-MW150K/VL-MW130Kの場合、通話中またはモニター中のドアホンからの映像を音声付きの画像として録画することができます。ドアホン親機の設定、および音声付きの画像として保存できない条件など詳細は、ドアホン親機の取扱説明書をご覧ください。
- 本機から音声付きの画像を再生しても音声は再生されません。

ドアホン・カメラの画像を保存、再生、消去する

画像を再生する

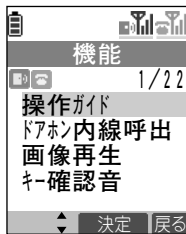
ドアホン・カメラからドアホン親機に保存した画像を本機で再生することができます。

例：ドアホン未再生画像を再生する場合

ナビ操作

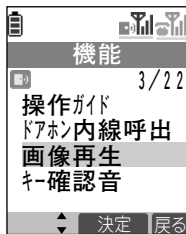
待ち受け中に

1 ● (メニュー) を2秒以上押す

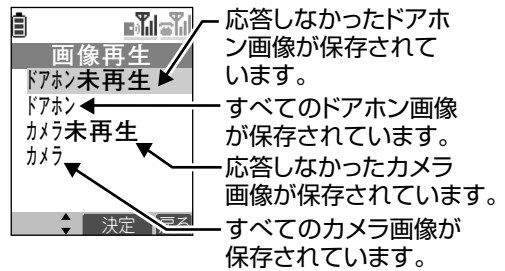


- 機能メニューが表示されます。

2 ● (決定) を押す

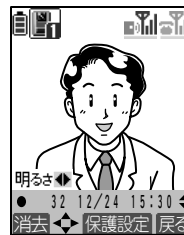


3 ● (決定) を押す



- 画像が保存されていない項目は選択できません。
- 保存されている画像が一つもない場合は「親機に画像がありません」と表示されます。

4 ● (決定) を押す



- ● を押すごとに、新しい順に画像が表示されます。
- ● または ● を押し続けると、連続して移動します。
- 再生画面の詳しい内容は「画像表示の見かた」(→53ページ)をご覧ください。

5 画像を見終わったら ● (終了) を押す

4

ドアホン・カメラの画像を保存、再生、消去する

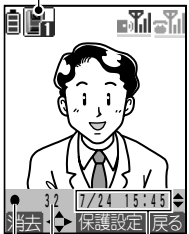
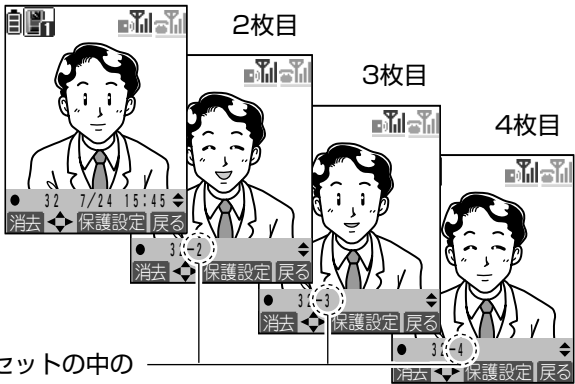
ドアホン・カメラの画像を保存、再生、消去する

操作のヒント

- 画像再生中は以下のことができます。
 - 画像の明るさを変える
 - ▶ で画像が明るくなり、◀○ で画像が暗くなります。
 - 画像を保護する
 - (保護設定) を押しと画像が保護されます。(➡56 ページ)
 - 画像を拡大表示する
 - ⊞ を押しと画像が大きく(拡大)なり、⊗ を押しと画像が小さく(縮小)なります。(➡46 ページ)
 - 画像を消去する
 - 機能 (消去) を押し、「消去しますか」が表示されたら 機能 (はい) を押しと画像が消去されます。(➡55 ページ)
 - 録画日時の表示を切り替える (ドアホン親機が VL-MW104K の場合、利用可能)
 - ✳ を 2 秒以上押しと録画日時の表示/非表示が切り替わります。
- ※ドアホン親機側の F ボタンの設定を「文字表示」にする必要があります。
 詳細はドアホン親機の取扱説明書をご覧ください。

画像表示の見かた

■ ドアホン録画画像の再生画面について

ドアホン録画数の設定 (➡カラーテレビドアホン取扱説明書)	
「1枚」：お買い上げ時	「4枚」
<p>撮影した機器 (➡45ページ)</p>  <p>録画日時 録画番号 (1~100)</p> <p>● : 未再生画像 ○ : 保護画像</p>	<p>1枚目</p> <p>4枚で1セット</p>  <p>1セットの中の 何枚目かを表示</p> <p>1枚目 : 着信して約2秒後の画像 2~4枚目 : 1枚目を録画後、約3秒おきの画像</p>

ドアホン・カメラの画像を保存、再生、消去する

■カメラ録画画像の再生画面について

4枚で1セット

撮影した機器
(⇒47ページ)

録画日時
● : 未再生画像
○ : 保護画像

録画番号 (1~100)

1セットの中の何枚目かを表示

1枚目 : センサー反応直後の画像
2~4枚目 : 1枚目を録画後、約3秒おきの画像

4

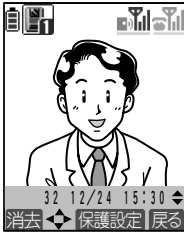
ドアホン・カメラの画像を保存、再生、消去する

お知らせ

- 「4枚で1セット」の1枚目の画像を再生中に
○ を押した場合 : 同じセットの中の2枚目の画像が再生されます。
○ を押した場合 : 1つ後に保存されたセットの1枚目の画像(「4枚で1セット」の画像の場合)が再生されます。
- 「4枚で1セット」の画像で4枚録画できなかったときは、○ を押したときに「保存中断あり 次の画像です」と表示され、次の画像を表示します。
- 録画日時の表示を3秒後に非表示にするように設定できます。(⇒58ページ)
- 録画日時はドアホン親機の日時が表示されます。録画日時が表示されない場合、ドアホン親機の日時の設定をしてください。
詳細はドアホン親機の取扱説明書をご覧ください。
- 本機から音声付きの画像を再生しても音声は再生されません。

画像を消去する

- 1 52ページの手順1～手順4を実行し、消去したい画像を表示する



- 2 機能 (消去) を押す



- 3 機能 (はい) を押す

- 指定した画像が消去され、1つ前に保存された画像が表示されます。
- 消去したくない場合は 戻る (いいえ) を押します。

お知らせ

- 保護されている画像は消去できません。
- 「4枚で1セット」の画像を消去する場合は、「連続画像あり 消去しますか」と表示されます。
機能 (はい) を押すと4枚すべてが消去されます。

4 画像の保護や表示設定をする

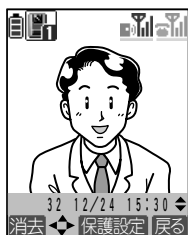
画像を保護・解除する

消去したくない画像をドアホン画像とカメラ画像を合わせて最大20枚まで保護できます。

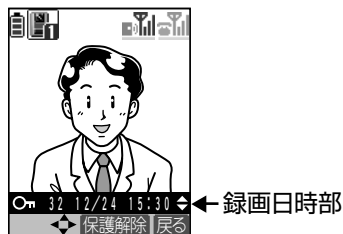
画像を保護する

ナビ操作

- 1 52ページの手順1～手順4を実行し、保護したい画像を表示する



- 2 ● (保護設定) を押す



- 画像が保護されます。
- 日付の前に「Om」が表示され、録画日時部が反転表示されます。
- 待ち受け画面に戻るには **終了** を押しします。

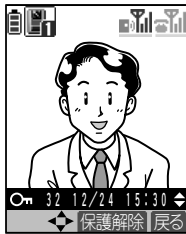
お知らせ

- 「4枚で1セット」の画像は、そのうちの1枚を保護設定すると4枚すべてが保護されます。ただし、保護した枚数は1枚分になります。
- すでに20枚の画像を保護設定している場合、新たに画像を保護することはできません。別の画像の保護を解除してから保護設定してください。

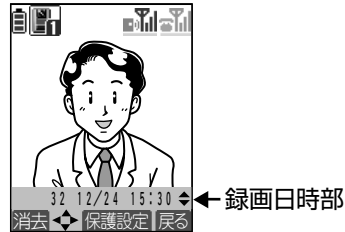
画像の保護を解除する

ナビ操作

- 1 52ページの手順1～手順4を実行し、保護解除したい画像を表示する



- 2 ● (保護解除) を押す



- 画像の保護が解除されます。
- 日付の前の「Om」が消去され、録画日時部の反転表示が解除されます。
- 待ち受け画面に戻るには「終了」を押します。

お知らせ

- 「4枚で1セット」の画像は、そのうちの1枚を解除すると4枚すべてが解除されます。

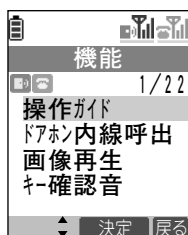
画像保存（録画）日時表示設定をする

画像再生時に表示される、録画日時を表示時間を設定できます。

ナビ操作

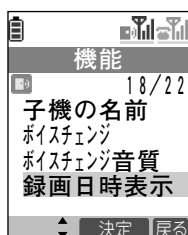
待ち受け中に

- 1 ●（メニュー）を2秒以上押す

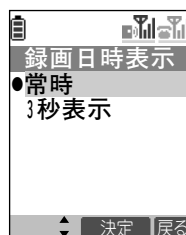


- 機能メニューが表示されます。

- 2 ●（決定）を押す



- 3 ●（決定）を押す



「常時」（お買い上げ時）

：録画日時表示部を常時表示する

「3秒表示」：録画日時表示部を約3秒間表示する

- 設定した内容に変更されます。

- 4 終了を押す

- 待ち受け画面に戻ります。

操作のヒント

- 手順3で●（決定）を押さないと設定内容は確定しません。

お知らせ

- 設定中に着信があったときや、約60秒間操作を行わなかったときは、設定を終了します。

4 外や室内の様子を確認する

外の様子を確認する（ドアホンモニター）

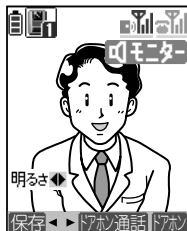
待ち受け中に

1 (FF) を2秒以上押す



- ソフトキー表示が「ドアホン」、カメラになります。

2 機能 (ドアホン) を押す



- ドアホン周辺の映像が表示され、スピーカーから周囲の音が聞こえます。ただし、こちらの声はドアホン側には聞こえません。
- ドアホンが2台以上あるときは、戻る (ドアホン) を押すごとにドアホン1とドアホン2の映像に切り替わります。

3 モニターが終わったら 終了 を押す

- モニターを終了し、待ち受け画面に戻ります。

📖 操作のヒント

- 画面の左下に「ドアホン」が表示されている場合、手順2から操作してください。
- 本機を充電台に置くことでドアホンモニターを終了することもできます。
- ドアホンモニター中は以下のことができます。
 - 画像の明るさを変える（5段階）
 - ▶ で画像が明るくなり、◀○ で画像が暗くなります。
 - 受話音量（スピーカー音）を変更する
側面の ▲ を押すと音量が大きくなり、▼ を押すと音量が小さくなります。（⇒29ページ）
 - 画像を保存する
機能 (保存) を押すと画像が保存されます。（⇒51ページ）
※ドアホン親機が VL-MW150K/VL-MW130K の場合、音声付きの画像として保存することもできます。
詳細はドアホン親機の取扱説明書をご覧ください。
 - 画像を拡大表示する
を押すと画像が大きく（拡大）なり、* を押すと画像が小さく（縮小）なります。（⇒46ページ）
- ドアホンモニター中に ● (ドアホン通話)、または 音声通話 を押すと、ドアホン側の相手と話すことができます。ドアホン通話中にできる操作は「ドアホンからの呼び出しに回答する」（⇒45ページ）の操作のヒントをご覧ください。
- ドアホン通話中からドアホンモニターする場合は 戻る (ドアホン) を押します。
- ドアホンやカメラからの画像を最大100枚まで保存することができます。「4枚で1セット」で保存した画像の場合、1セット（4枚）で1枚と数えます。
詳細はドアホン親機の取扱説明書をご覧ください。

📌 お知らせ

- 夜間などドアホン側が暗いときは白黒映像になります。

4

外や室内の様子を確認する

カメラ周辺の様子を確認する（カメラモニター）

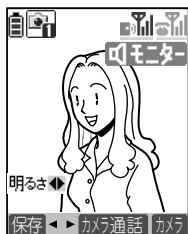
待ち受け中に

1 (FF) を2秒以上押す



- ソフトキー表示が「ドアホン」、カメラになります。

2 戻る (カメラ) を押す



- カメラ周辺の映像が表示され、スピーカーから周囲の音が聞こえます。ただし、こちらの声はカメラ側には聞こえません。
- カメラが2台以上あるときは、戻る (カメラ) を押すごとにカメラ1→カメラ2→カメラ3→カメラ4→カメラ1の順に映像が切り替わります。

3 モニターが終わったら 終了 を押す

- モニターを終了し、待ち受け画面に戻ります。

4

外や室内の様子を確認する

操作のヒント

- 画面の右下に「カメラ」が表示されている場合、手順2から操作してください。
- 本機を充電台に置くことでカメラモニターを終了することもできます。
- カメラモニター中は以下のことができます。
 - 画像の明るさを変える（5段階）
 - ▶ で画像が明るくなり、◀○ で画像が暗くなります。
 - 受話音量（スピーカー音）を変更する
側面の ▲ を押すと音量が大きくなり、▼ を押すと音量が小さくなります。（→29ページ）
 - 画像を保存する
機能 (保存) を押すと画像が保存されます。（→51ページ）
 - 画像を拡大表示する
を押すと画像が大きく（拡大）なり、* を押すと画像が小さく（縮小）なります。（→46ページ）
- カメラモニター中に ● (カメラ通話)、または 通話 を押すと、カメラ側の相手と話すことができます。
カメラ通話中にできる操作は「カメラからの呼び出しに応答する」（→47ページ）の操作のヒントをご覧ください。
- カメラ通話中からカメラモニターする場合は 戻る (カメラ) を押します。
- ドアホンやカメラからの画像を最大100枚まで保存することができます。「4枚で1セット」で保存した画像の場合、1セット（4枚）で1枚と数えます。
詳細はドアホン親機の取扱説明書をご覧ください。

4 ドアホン親機、ドアホン子機との通話

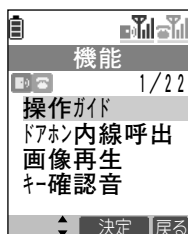
本機からドアホンの親機またはドアホン子機を呼び出すことができます。
また、親機とすべての子機を同時に呼び出す（一斉呼出）こともできます。

ドアホン親機またはドアホン子機を呼び出す（ドアホン内線通話）

ナビ操作

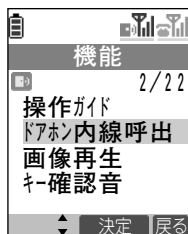
待ち受け中に

- 1 ●（メニュー）を2秒以上押す

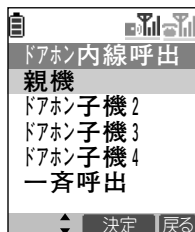


- 機能メニューが表示されます。

- 2 ↑↓ で「ドアホン内線呼出」を選択し ●（決定）を押す

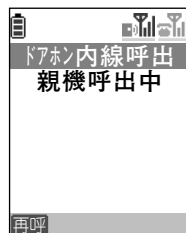


- 3 ↑↓ で呼び出したい相手を選択し ●（決定）を押す



- 「一斉呼出」を選択した場合、親機とすべてのドアホン子機を呼び出します。
- 画面表示は登録されているドアホン子機が4台の場合の例です。

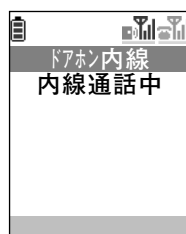
- 4 相手に呼びかける



（親機を呼び出した場合）

- 相手が応答しない場合、機能（再呼）を押すと、再度呼出音で相手呼び出します。

- 5 相手が応答したら話す



- 相手が応答したら通話ができます。

- 6 通話が終わったら 終了 を押す

- 待ち受け画面に戻ります。

4

ドアホン親機、ドアホン子機との通話

操作のヒント

- ドアホン親機に本機のみ登録されている場合、手順3で呼び出したい相手を決定せずに、ドアホン親機を呼び出すことができます。
- 本機を充電台に置くことでドアホン内線通話を終了することもできます。

お知らせ

- ドアホン内線通話中にドアホンやカメラから呼び出しがあると呼出音が受話口から聞こえ、応答することができます。(⇒66 ページ)
- ドアホン内線通話中に外線や内線から着信があると着信音が受話口から聞こえ、応答することができます。(⇒67 ページ)
- 手順1～手順3で約60秒間操作を行わなかったときは、待ち受け画面に戻ります。
- ドアホン内線通話中にスピーカーホン通話をすることはできません。

4

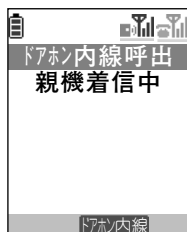
ドアホン親機、ドアホン子機との通話

ドアホン親機またはドアホン子機からの呼び出しに 応答する（ドアホン内線通話）

例：ドアホン親機から呼び出しがあった場合

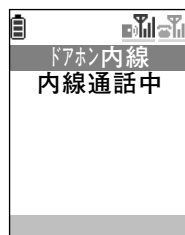
ナビ操作

1 呼出音または呼びかけが 聞こえる



- ソフトキーの **ドアホン内線** が点滅します。

2 ●（ドアホン内線）を押す



- 通話ができます。

3 通話が終わったら **終了** を押す

- 待ち受け画面に戻ります。

操作のヒント

- 本機を充電台に置くことでドアホン内線通話を終了することもできます。

お知らせ

- 本機を充電台に置いているときに、本機を充電台から取り上げるだけで呼び出しに応答できるようことができます。（⇒76 ページ）
- ドアホン内線通話中にドアホンやカメラから呼び出しがあると呼出音を受話口から聞こえ、応答することができます。（⇒66 ページ）
- ドアホン内線通話中に外線や内線から着信があると着信音を受話口から聞こえ、応答することができます。（⇒67 ページ）
- ドアホン内線通話中にスピーカーホン通話をすることはできません。
- ドアホン親機または本機以外のドアホン子機から本機を呼び出す方法はそれぞれに添付の取扱説明書をご覧ください。

4 電気錠／機器を操作する(Fボタン機能)

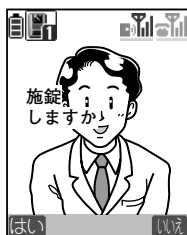
本機からの操作でドアホン親機に接続されている電気錠の施錠／解錠、機器のON／OFFができます。(Fボタン機能)

本機能を利用するにはドアホン親機側の外部機器ボタンの外部機器1の設定(VL-MW150K/VL-MW130Kの場合)、またはドアホン親機側のFボタンの設定(VL-MW104Kの場合)を「電気錠」、または「機器」に設定する必要があります。詳細はドアホン親機の取扱説明書をご覧ください。

電気錠を施錠する／機器をONにする

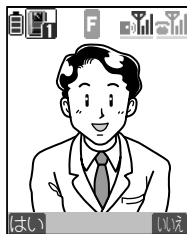
例：ドアホン通話中に電気錠を施錠する場合
待ち受け中、ドアホン通話(モニター)中、
カメラ通話(モニター)中に



1 を2秒以上押す



- 「施錠しますか」と表示されます。

2 (はい) を押す



-  が表示され、電気錠が施錠されます。
-  (いいえ) を押すと、施錠は行われません。

電気錠を解錠する／機器をOFFにする

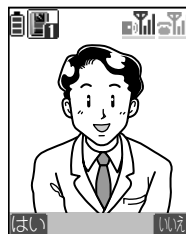
例：ドアホン通話中に電気錠を解錠する場合
待ち受け中、ドアホン通話(モニター)中、
カメラ通話(モニター)中に



1 を2秒以上押す



- 「解錠しますか」と表示されます。

2 (はい) を押す



-  が消え、電気錠が解錠されます。
-  (いいえ) を押すと、解錠は行われません。

お願い

- ドアホン親機がVL-MW150K/VL-MW130Kの場合、外部機器2に接続された機器に対して、本機から操作することはできません。
ドアホン親機、またはドアホン子機(VL-W603)から操作してください。
- ドアホン親機がVL-MW150K/VL-MW130Kの場合、センサー入力に接続された火災警報器や外部センサーが反応しても、本機には通知されません。
ドアホン親機、またはドアホン子機(VL-W603)から操作してください。

お知らせ

- ドアホン・カメラからの呼び出し中に電気錠／機器への操作を行うことはできません。
ドアホン・カメラからの呼び出しに回答してから電気錠／機器への操作を行ってください。

4 通話中やモニター中に別の呼び出しがあったときは

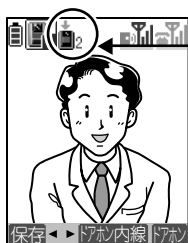
ドアホン通話中やモニター中に別のドアホンからの呼び出しがあったとき

ドアホン通話中やモニター中に、別のドアホンから呼び出しがあると、呼出音が鳴り、呼び出してきた機器の情報が画面に表示され、対応することができます。

例：ドアホン（ドアホン1）とドアホン通話中に別のドアホン（ドアホン2）から呼び出しがあった場合

ナビ操作

1 ドアホン通話中に呼出音が鳴る



呼び出してきた別のドアホンの番号が表示されます。

- 画面の上部に「2」（ドアホン2の場合）が表示され、ソフトキーの「ドアホン」が点滅します。

2 戻る（ドアホン）を押す



呼び出してきた別のドアホンの映像に切り替わります。

- 呼び出しがあったドアホンからの映像に切り替わり、スピーカーから周囲の音が聞こえます。（こちらの声は相手側には聞こえません。）
- ドアホン1とのドアホン通話は終了します。
- ●（ドアホン通話）を押すとドアホン2とドアホン通話できます。
- 機能 ○（保存）を押すとドアホンからの映像が保存されます。

3 通話が終わったら 終了 を押す

- 待ち受け画面に戻ります。

お知らせ

- カメラからの呼び出しに応答することもできます。
- 呼び出してきた機器が表示されるマークによって分かります。

ドアホン 1～2: ~

カメラ 1～4: ~

4

通話中やモニター中に別の呼び出しがあったときは

通話中やモニター中に別の呼び出しがあったときは

ドアホン親機またはドアホン子機との通話（ドアホン内線通話）中にドアホンからの呼び出しがあったとき

ドアホン親機やドアホン子機とのドアホン内線通話中に、ドアホンから呼び出しがあると、受話口から呼出音が鳴り、呼び出してきた機器の情報が画面に表示され、対応することができます。



例：ドアホン内線通話中にドアホン（ドアホン1）から呼び出しがあった場合

ナビ操作

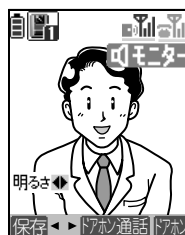
1 ドアホン内線通話中に受話口から呼出音が鳴る





呼び出してきたドアホンの番号が表示されます。

- 画面の上部に「1」（ドアホン1の場合）が表示され、ソフトキーの  が点滅します。

2 （戻る）を押す



呼び出してきたドアホンの映像に切り替わります。



- 呼び出しがあったドアホンからの映像に切り替わり、スピーカーから周囲の音が聞こえます。（こちらの声は相手側には聞こえません。）
- ドアホン内線通話は終了します。
- （ドアホン通話）を押すとドアホン1とドアホン通話できます。
- （保存）を押すとドアホンからの映像が保存されます。



3 通話が終わったら を押す

- 待ち受け画面に戻ります。

お知らせ

- カメラからの呼び出しに応答することもできます。
- 呼び出してきた機器が表示されるマークによって分かります。

ドアホン 1～2: 1 ~ 2

カメラ 1～4: 1 ~ 4

ドアホン通話中に電話から着信があったとき

ドアホン通話中に外線・内線からの着信があると、着信音が鳴り、電話をかけてきた相手の電話番号などが表示され、対応することができます。

例：ドアホン1とドアホン通話中に外線からの着信があった場合

1 ドアホン通話中に着信音が鳴る



電話をかけてきた相手の電話番号が表示されます。

(例：「ラ・ルリエ」の場合)

- 内線からの着信の場合、相手の内線番号が表示されます。

2 を押す

- 電話をかけてきた相手との通話の画面に切り替わり、相手と通話することができます。
- ドアホン1とのドアホン通話は終了します。

3 通話が終わったら を押す

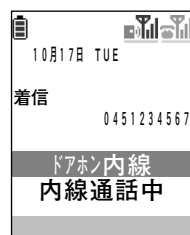
- 待ち受け画面に戻ります。

ドアホン親機またはドアホン子機との通話（ドアホン内線通話）中に電話から着信があったとき

ドアホン内線通話中に外線・内線からの着信があると、受話口から着信音が鳴り、電話をかけてきた相手の電話番号などが表示され、対応することができます。

例：ドアホン親機とドアホン内線通話中に外線からの着信があった場合

1 ドアホン内線通話中に受話口から着信音が鳴る



電話をかけてきた相手の電話番号が表示されます。

(例：「ラ・ルリエ」の場合)

- 内線からの着信の場合、相手の内線番号が表示されます。

2 を押す

- 電話をかけてきた相手との通話の画面に切り替わり、相手と通話することができます。
- ドアホン内線通話は終了します。

3 通話が終わったら を押す

- 待ち受け画面に戻ります。

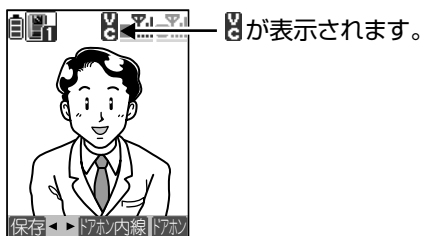
5 声を変えて話す(ボイスチェンジ機能)

女性などの高い声を男性のような低い声に変えて話すことができます。
しつこいセールスやいたずらに対応するときに便利です。
ボイスチェンジ機能は、電話での通話、ドアホン通話、カメラ通話で使えます。

例：ドアホン通話の場合

ドアホン通話中に

1 ボイスチェンジ(発信) を押す



- 相手に聞こえる声が低くなります。
- もう一度 **ボイスチェンジ(発信)** を押すと、画面の **CV** が消去され元の声に戻ります。

お知らせ

- ボイスチェンジ機能を動作しないようにすることができます。(➡83 ページ)
- 下記の場合、ボイスチェンジ機能は動作しません。
 - 本機から発信しての電話での通話の場合
 - FF キー表示中の場合
- 「ラ・ルリエ」に接続時、電話での内線通話の場合、ボイスチェンジ機能は動作しません。
- 通話を終了すると、ボイスチェンジ機能は解除されます。
- ボイスチェンジしたときの声の高さを変更することもできます。(➡83 ページ)
- ドアホン親機またはドアホン子機とドアホン内線通話中 (➡61 ページ～63 ページ) は、ボイスチェンジ機能は動作しません。

5

声を変えて話す(ボイスチェンジ機能)

5 呼出音を変える

電話（外線、内線、センサー）、ドアホン、カメラの呼出音、およびドアホンアダプター／ドアホンユニットに接続した玄関子機からの呼出音をそれぞれ変更することができます。

電話（外線、内線、センサー）の呼出音を変更する ➡69ページ

ドアホン、カメラからの呼出音を変更する ➡72ページ

玄関子機からの呼出音を変更する ➡69ページのお知らせ

電話の呼出音を変更する

電話がかかってきたときの呼出音は、「IP-Digaport」または「ラ・ルリエ」の主装置で設定された呼出音を使用する方法と本機で設定した呼出音を使用する方法があります。

- 「IP-Digaport」または「ラ・ルリエ」の主装置で設定された呼出音を使用
「電話呼出音源」（➡85ページ）で「システム共通」を設定した場合、主装置で設定された呼出音が使用されます。
詳細はお買い上げの販売店にお問い合わせください。
- 本機で固有に設定された呼出音を使用
「電話呼出音源」（➡85ページ）で「子機個別」を設定した場合、本機で設定した呼出音を設定します。呼出音の種類を以下に示します。（お買い上げ時：ベル1）

種類	画面表示	内容
ベル	ベル1~ベル5	5種類のベルがあります
メロディー	JUPITER	JUPITER
	ヴァルキューレ	ヴァルキューレの騎行
	CANTATA	CANTATA（主よ、人の望みの喜びよ）
	くるみ割り人形	くるみ割り人形

© 2006
M-ZoNE Co., Ltd.

呼出音の変更方法を70ページに示します。

お知らせ

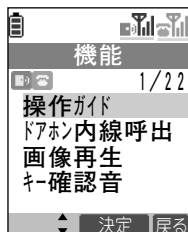
- 「ラ・ルリエ」では、「電話呼出音源」の設定にかかわらず、ドアホンユニットに接続した玄関子機からの呼出音は本機で設定した呼出音が有効になります。（➡70、71ページ）

呼出音を変える

ナビ操作

待ち受け中に

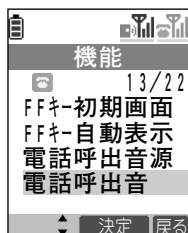
1 ● (メニュー) を2秒以上押す



- 機能メニューが表示されます。

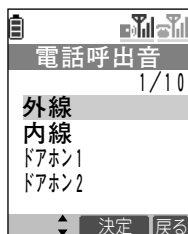
2 ● (決定) を押す

● (決定) を押す

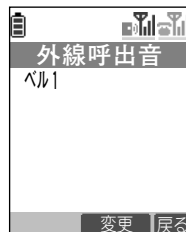


3 ● (決定) を押す

例：「外線」を選択した場合



4 ● (決定) を押す



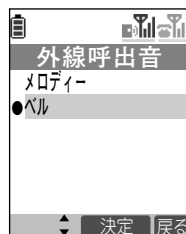
- 現在設定されている呼出音が表示されます。
- 呼出音にメロディーが設定されている場合、メロディー名が表示されます。

5 ● (変更) を押す

6 ● (決定) を押す

● (決定) を押す



例：「ベル」を選択した場合



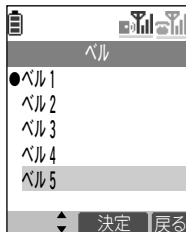
- 設定項目の左側に「●」が付いている項目が現在設定されている項目です。

5

呼出音を変える

- 7  で設定したい呼出音を選択し
 (決定) を押す

例：「ベル5」を選択した場合



- 呼出音を選択すると、選択した呼出音が鳴ります。
- 設定項目の左側に「●」が付いている項目が現在設定されている項目です。
- 設定した内容に変更されます。


- 8 続けて他の発信元の呼出音を設定する場合は、手順3から手順7を繰り返す

-  を押すと前の画面に戻ります。

- 9  を押す

- 待ち受け画面に戻ります。

📖 操作のヒント

- 手順7で  (決定) を押さないと設定内容は確定されません。

📌 お知らせ

- 設定中に着信があったときや、約60秒間操作を行わなかったときは、設定を終了します。
- 「IP-Digaport」では、「外線」と「内線」の呼出音の設定をそれぞれ有効にするためには主装置の設定が必要です。📞 **取付け時設定**
 この場合、FFキーへの着信が「外線」、FFキー以外の着信が「内線」として扱われ、呼び出しを識別することができます。
 また、ドアホンアダプターに接続した玄関子機からの呼出音は「内線」または「外線」で設定されている音となります。玄関子機からの呼び出しを「内線」とするか、「外線」とするかについては主装置の設定に依存します。📞 **取付け時設定**
- 「ラ・ルリエ」では、ドアホンユニットに接続した玄関子機、センサーからの呼出音を変更する時は、それぞれ手順3でドアホン1～ドアホン4、センサー1～センサー4を選択してください。ただし、ドアホン1～ドアホン4で選択できる呼出音は音1～音3(➡72ページ)または4種類のメロディー(➡69ページ)です。
- アラーム設定時のアラーム音は、手順3で発信元に「内線」を選択した場合の呼出音が鳴ります。

呼出音を変える

ドアホンやカメラからの呼出音を変更する

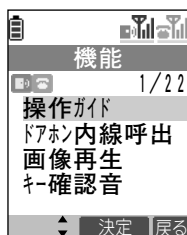
ドアホンやカメラからの呼出音を変更できます。
呼出音の設定は、ドアホン1～2、カメラ1～4ごとに設定できます。
呼出音の種類を以下に示します。

ドアホンの呼出音		カメラの呼出音	
音1	ピーンポーン	音A	ピポッ
音2	プルルルル…	音B	ポポポポポポ…
音3	ピンポーンピンポーン	音C	ポーンポーン
—	—	音D	ピーンポーン

ナビ操作

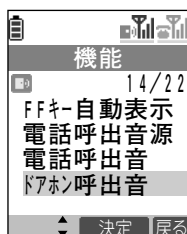
待ち受け中に

- 1 ● (メニュー) を2秒以上押す



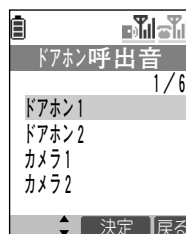
- 機能メニューが表示されます。

- 2 ● (決定) を押す



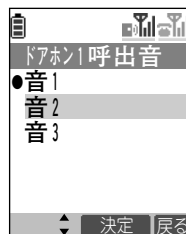
- 3 ● (決定) を押す

例：「ドアホン1」を選択した場合




- 4 ● (決定) を押す

例：「音2」を選択した場合



- 呼出音を選択すると、選択した呼出音が鳴ります。
- 設定項目の左側に「●」が付いている項目が現在設定されている項目です。
- 設定した内容に変更されます。


5 続けて他の発信元の呼出音を設定する場合は、手順3から手順4を繰り返す

-  (戻る) を押すと前の画面に戻ります。

6 を押す

- 待ち受け画面に戻ります。

操作のヒント


- 手順4で  (決定) を押さないと設定内容は確定されません。

お知らせ

- 設定中に着信があったときや、約60秒間操作を行わなかったときは、設定を終了します。

5 充電台から取り上げるだけで電話をかける

クイック通話する

充電台から本機を取り上げたあと、 を押さなくても、電話をかけることができます。

例：外線へ電話をかける場合

1 充電台から本機を取り上げる

2  を押す


3 相手の電話番号と  を押す

- 画面に電話番号が表示されます。
- 相手とつながったら通話ができます。
- 通話中は通話時間が表示されます。




4 通話が終わったら  を押す

- 待ち受け画面に戻ります。

操作のヒント

- 電話（アナログ）回線で外線へ電話をかけるときは、相手の電話番号のあとにダイヤルする  は必要ありません。

お知らせ

- 手順2の  は変更することができます。 取付け時設定
- クイック通話するためには設定が必要です。(➡75ページ)
- 内線へ電話をかけるときは手順2～手順3の代わりに内線番号を押してください。
- 手順1で充電台から本機を取り上げたときに、自動的にFFキーを表示させることができます。(➡41ページ)
外線へ電話をかける場合、空いている外線のFFキーに対応するダイヤルボタンを押してから、電話番号を押してください。
内線へ電話をかける場合、 を押し、FFキーの画面を消してから、内線番号を押してください。

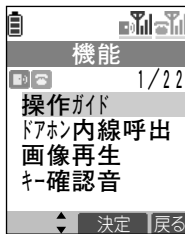
クイック通話の設定と解除について

充電台から本機を取り上げたあと、**開始** を押さなくても、電話をかけられるように設定できます。

ナビ操作

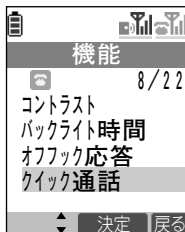
待ち受け中に

1 ● (メニュー) を2秒以上押す



- 機能メニューが表示されます。

2 ● (決定) を押す



3 ● (決定) を押す



「ON」 : クイック通話を設定する

「OFF」 : クイック通話を解除する

- 設定した内容に変更されます。
- 設定項目の左側に「●」が付いている項目が現在設定されている項目です。

4 **終了** を押す

- 待ち受け画面に戻ります。

操作のヒント

- 手順3で ● (決定) を押さないと設定内容は確定しません。

お知らせ

- 設定中に着信があったときや、約60秒間操作を行わなかったときは、設定を終了します。

オフフック応答する

電話がかかってきたときやドアホン・カメラから呼び出しがあったとき、充電台から本機を取り上げるだけで応答することができます。

着信中または呼び出し中に

1 充電台から本機を取り上げる

- 相手とつながったら通話ができます。

2 通話が終わったら を押す

- 待ち受け画面に戻ります。

お知らせ

- オフフック応答するためには設定が必要です。(→77ページ)
- ドアホン・カメラからの呼び出しにオフフック応答した場合、ドアホン通話・カメラ通話の状態になります。

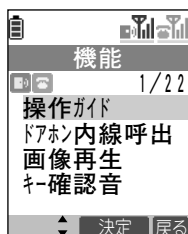
オフフック应答の設定と解除について

電話がかかってきたときやドアホン・カメラから呼び出しがあったとき、充電台から本機を取り上げるだけで应答ができるように設定することができます。

◀ナビ操作

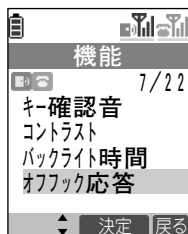
待ち受け中に

1 ● (メニュー) を2秒以上押す

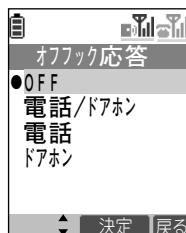


- 機能メニューが表示されます。

2 ● (決定) を押す



3 ● (決定) を押す



「OFF」(お買い上げ時)

：オフフック应答を解除する

「電話/ドアホン」

：電話/ドアホン/カメラからのオフフック应答を設定する

「電話」

：電話からのオフフック应答を設定する

「ドアホン」

：ドアホン/カメラからのオフフック应答を設定する

- 設定した内容に変更されます。
- 設定項目の左側に「●」が付いている項目が現在設定されている項目です。


4 ● (終了) を押す

- 待ち受け画面に戻ります。

📖 操作のヒント

- 手順3で ● (決定) を押さないと設定内容は確定しません。

🔔 お知らせ

- 「ラ・ルリエ」で外線からかかってきた電話にオフフック应答する場合、本ページの設定の他に主装置の設定が必要です。 **取付け時設定**
- 設定中に着信があったときや、約60秒間操作を行わなかったときは、設定を終了します。

5 相手に自分の声を聞こえないようにする(ミュート機能)


通話中に自分の声を相手に聞こえないようにすることができます。
ミュート機能は電話での通話で使えます。

ミュートにする

通話中に

1 ボイスチェンジ 発信 を2秒以上押す




-  が表示され、自分の声が相手に聞こえないようになります。

ミュートを解除する



ミュート中に

1 ボイスチェンジ 発信 を押す



-  が消え、自分の声が相手に聞こえるようになります。

お知らせ

- ミュート中に通話を終了した場合、次回の通話はミュートを解除した状態で通話を開始します。
- ボイスチェンジ機能 (➡68 ページ) の動作中はミュート機能を使用できません。
- ドアホン通話中に自分の声を相手に聞こえないようにするには、 (ドアホン) を押ししてください。(➡59 ページ)
- カメラ通話中に自分の声を相手に聞こえないようにするには、 (カメラ) を押ししてください。(➡60 ページ)

5

相手に自分の声を聞こえないようにする(ミュート機能)

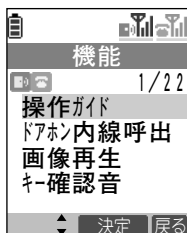
5 操作ガイドを表示する

本機の操作ガイド（説明）を画面に表示します。
本機の操作を確認することができます。

ナビ操作

待ち受け中に

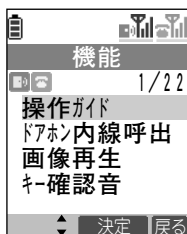
1 ●（メニュー）を2秒以上押す



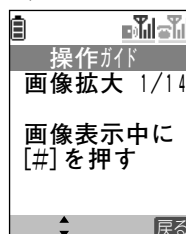
- 機能メニューが表示されます。

2 ↑↓ で「操作ガイド」を選択し

●（決定）を押す



3 ↑↓ で操作ガイドを表示する



- 表示できる操作ガイドは本機の登録内容によって異なります。
- 戻るを押すと前の画面に戻ります。

4 確認し終わったら 終了 を押す

- 待ち受け画面に戻ります。

お知らせ

- 設定中に着信があったときや、約 60 秒間操作を行わなかったときは、設定を終了します。

5

操作ガイドを表示する

5 機能メニューを使っていろいろな機能を設定する

いろいろな機能を設定する

機能メニューからいろいろな機能の設定ができます。

ここでは、機能設定の基本的な操作について説明しています。

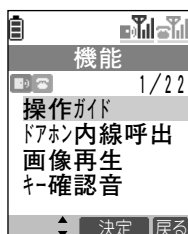
各種機能内容の詳細や設定項目などについては、「機能メニュー一覧」(➡82ページ)をご覧ください。

コマンドナビキーで機能を選択する

◀ナビ操作

待ち受け中に

1 ● (メニュー) を2秒以上押す

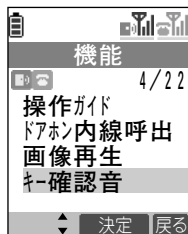


- 機能メニューが表示されます。

2 ● (決定) を押す

● (決定) を押す

例：「キー確認音」を設定する場合

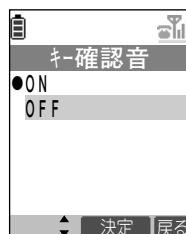


- 設定できる機能の種類や内容は「機能メニュー一覧」(➡82ページ)を参照してください。

3 ● (決定) を押す

● (決定) を押す

例：「OFF」に設定する場合



- 設定した内容に変更されます。
- 機能によっては、数字を入力したり、画面の表示にしたがってこの操作を繰り返すものもあります。
- 設定項目の左側に「●」が付いている項目が現在設定されている項目です。

4 終了 を押す

- 待ち受け画面に戻ります。

📄お知らせ

- 設定中に着信があったときや、約60秒間操作を行わなかったときは、設定を終了します。

機能メニューを使っていろいろな機能を設定する

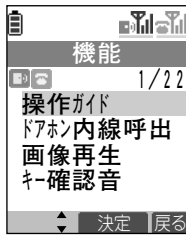
ダイヤルボタンを押して機能を選択する

ダイヤルボタンを使って、各機能の設定画面を選択することもできます。

ナビ操作

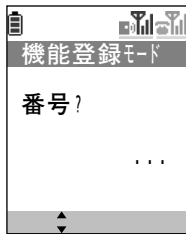
待ち受け中に

1 (メニュー) を2秒以上押す



- 機能メニューが表示されます。

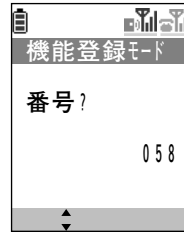
2 (#) を押す



- 機能登録モード画面が表示されます。

3 設定したい機能の機能番号をダイヤルボタンで押す

例：「キー確認音」（機能番号：058）を設定する場合



- 各機能の機能番号は「機能メニュー一覧」（→82ページ）をご覧ください。
- 3ケタ目のダイヤルボタンを押した時点で機能の画面が表示されます。

4 80ページの手順3～手順4を行う

操作のヒント

- 手順2で (メニュー) を押すと機能メニュー画面に戻ります。
- 手順3で誤った機能番号を押すと機能メニュー画面に戻ります。

お知らせ

- 設定中に着信があったときや、約60秒間操作を行わなかったときは、設定を終了します。


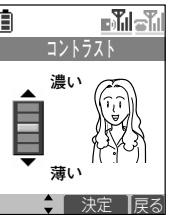

5

機能メニューを使っていろいろな機能を設定する

機能メニューを使っていろいろな機能を設定する

機能メニュー一覧

機能メニューから各種機能の設定や操作をすることができます。

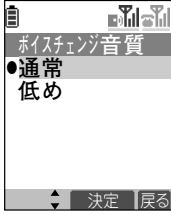
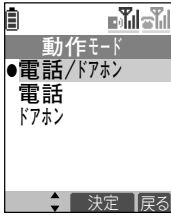
機能名称 (機能番号)	機能概要	設定内容	お買い上げ 時の設定
操作ガイド (012)	本機の操作ガイド（説明）を画面に表示します。	79ページを参照してください。	—
キー確認音 (058)	キー操作をするときに鳴る確認音を鳴らないようにすることができます。	 <p>ON : キー確認音を鳴らす OFF : キー確認音を鳴らさない</p>	ON
コントラスト (052)	画面のコントラストを5段階で調節できます。	 <p>↑ : コントラストが濃くなる ↓ : コントラストが薄くなる</p>	中央
バックライト時間 (053)	ダイヤル操作後や待ち受け画面になってから画面のバックライトを点灯させている時間を設定できます。	 <p>バックライトを点灯させる時間（05秒～59秒）を2ケタで設定します。</p>	10秒
オフフック 応答 (009)	電話がかかってきたときやドアホン・カメラから呼び出しがあったとき、充電台から本機を取り上げるだけで電話を受けるように設定できます。	77ページを参照してください。	OFF

5

機能メニューを使っていろいろな機能を設定する

共通
※1

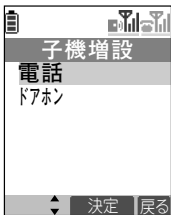
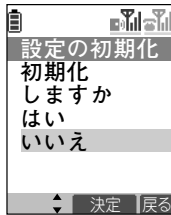
機能メニューを使っていろいろな機能を設定する

機能名称 (機能番号)	機能概要	設定内容	お買い上げ 時の設定	
共通 ※1	ボイスチェンジ (151)	ボイスチェンジ機能を無効にすることができません。 	OFF : ボイスチェンジ機能を無効にする 電話／ドアホン : 内線電話機およびドアホン子機として利用時にボイスチェンジ機能を有効にする 電話 : 内線電話機として利用時のみボイスチェンジ機能を有効にする ドアホン : ドアホン子機として利用時のみボイスチェンジ機能を有効にする	電話/ ドアホン
	ボイスチェンジ音質 (152)	ボイスチェンジ (→68ページ) の声の高さを設定できます。 	通常 : 声を低くする 低め : 声を「通常」よりさらに低くする	通常
	動作モード (109)	使用するシステムに応じて、本機の動作モードを設定できます。 	電話/ドアホン : 電話とドアホンの両方の機能を使うモード 電話 : 電話の機能のみ使うモード ドアホン : ドアホンの機能のみ使うモード	—

5

機能メニューを使っていろいろな機能を設定する


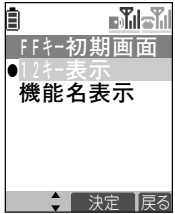
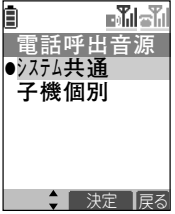
機能メニューを使っていろいろな機能を設定する

機能名称 (機能番号)	機能概要	設定内容	お買い上げ 時の設定
共通 ※ ₁ 子機増設 (123)	本機を「IP-Digaport」または「ラ・ルリエ」の主装置／ドアホン親機に登録することができます。	 <p>電話： 「IP-Digaport」または「ラ・ルリエ」の主装置に登録する ・登録する前に「IP-Digaport」または「ラ・ルリエ」側で登録準備操作が必要になります。</p> <p>ドアホン： ドアホン親機に登録する ・登録する前にドアホン親機側で登録準備操作が必要になります。</p> <p>詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください。</p>	—
設定の 初期化 (111)	本機のメニュー機能を「IP-Digaport」または「ラ・ルリエ」の主装置／ドアホン親機に登録時の設定に戻すことができます。	 <p>はい： 登録時の設定に戻す</p> <p>いいえ： 登録時の設定に戻すことをやめる</p> <p>「はい」を選択して、実行した場合、再起動が必要になります。画面の案内にしたがって、●(決定)を押してください。</p>	—
電話 ※ ₂ クイック 通話 (008)	充電台から本機を取り上げるだけで、電話をかけるようにすることができます。(➡74ページ)	75ページを参照してください。	OFF

5

機能メニューを使っていろいろな機能を設定する

機能メニューを使っていろいろな機能を設定する

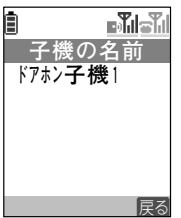

機能名称 (機能番号)	機能概要	設定内容		お買い上げ 時の設定
FFキー 機能名※4 (136)	FFキーの機能名称の表示方式を設定できます。		リスト表示： FFキーの機能名称をリスト形式で表示する ボタン表示： FFキーの機能名称をボタン形式で表示する FFキーの機能名称の表示方法については「IP-Digaport」または「ラ・ルリエ」の取扱説明書を参照してください。	リスト表示
FFキー 初期画面 (137)	FFボタンを押したときのFFキーの表示形式を設定できます。		12キー表示： 12個のFFキーを表示する 機能名表示： 6個のFFキーとそれぞれの機能名を表示する	12キー表示
FFキー 自動表示 (138)	自動的にFFキーを表示させることができます。	41ページを参照してください。		
電話呼出音源 (134)	電話の呼出音の音源を設定できます。		システム共通： システムの共通音源を使用する 子機個別： 子機個別音源を使用する詳細は69ページを参照してください。	システム共通

電話
※2

5

機能メニューを使っていろいろな機能を設定する

機能メニューを使っていろいろな機能を設定する

機能名称 (機能番号)	機能概要	設定内容	お買い上げ 時の設定		
電話 ※2	電話呼出音 (135)	「電話呼出音源」で「子機個別」を設定した場合の電話（外線、内線）、ドアホンアダプター／ドアホンユニットに接続した玄関子機、センサーからの呼出音を設定できます。	69ページを参照してください。	ベル1※5	
	ドアホン内線呼出 (003)	ドアホン親機やドアホン子機を呼び出すことができます。	61ページを参照してください。	—	
ドアホン ※3	画像再生 (004)	ドアホンやカメラに保存された画像を再生できます。	52ページを参照してください。	—	
	ドアホン呼出音 (054)	ドアホンやカメラからの呼出音を設定できます。呼出音の設定は、ドアホン1～2、カメラ1～4ごとに設定できます。	72ページを参照してください。	ドアホン1: 音1 ドアホン2: 音2 カメラ1～4: 音A	
	子機の名前 (002)	子機（本機）の名前を確認することができます。		本機の名前が表示されます。	—
	録画日時表示 (122)	画像再生時に表示される、録画日時の表示時間を設定できます。	58ページを参照してください。	常時	
	画像ガイド表示 (174)	ドアホン通話やカメラ通話、ドアホンモニターやカメラモニター中などに「明るさ」「モニター」などの操作ガイドを表示することができます。		ON : 画像ガイドを表示する※6 OFF : 画像ガイドを表示しない	ON

5

機能メニューを使っていろいろな機能を設定する

機能メニューを使っていろいろな機能を設定する

- ※1：「IP-Digaport」または「ラ・ルリエ」の内線電話機として利用時とカラーテレビドアホンと連携して利用時に共通で有効な機能です。
- ※2：「IP-Digaport」または「ラ・ルリエ」の内線電話機として利用時に有効な機能です。
- ※3：カラーテレビドアホンと連携して利用時に有効な機能です。
- ※4：本機の操作でFFキーの機能名称を編集することはできません。FFキーの機能名称の編集は、「IP-Digaport」または「ラ・ルリエ」側で行います。
- ※5：ドアホン1～4のお買い上げ時の設定はそれぞれ以下のとおりです。

ドアホン1	：音1
ドアホン2	：音3
ドアホン3～4	：音2
- ※6：画像ガイドを表示してから約3秒後に表示は消えます。また、なんらかの操作をすると画像ガイド表示は消えます。

お知らせ

- 本機を「IP-Digaport」または「ラ・ルリエ」の内線電話機として登録していない場合、電話関連の機能メニューは表示されません。
- 本機をドアホン親機に一回も登録していない場合、ドアホン関連の機能メニューは表示されません。




5

機能メニューを使っていろいろな機能を設定する

6 困ったときの確認事項

修理をご依頼される前に、次の点を確認してください。
それでも直らないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

こんなときは	ここを確認してください	操 作	参照 ページ
着信音が鳴らない	サイレントモードになっていませんか？	サイレントモードを解除してください。	30
一斉・グループ呼出ができない	通話中ですか？	通話を終えてから操作し直してください。	—
待ち受け中に表示される日付・時刻がずれている*2	お使いいただいている間に少しずつ誤差が大きくなります。	「IP-Digaport」または「ラ・ルリエ」の指定電話機で訂正してください。	主装置*1 取説
ドアホン通話やカメラ通話が途切れるまたは、ほとんど聞こえない	アンテナを手で覆っていませんか？	アンテナを手で覆わないようにしてください。	19
	ドアホン親機との間にコンクリート壁などの障害物がありますか？ ドアホン親機から離れすぎていませんか？	場所を移動してください。	—
ドアホン通話やカメラ通話で雑音（ハウリング）が聞こえて通話ができない	通話中の相手に近すぎませんか？	少し離れた場所で通話してください。	—
ドアホンからの映像が白黒になる	夜間など、ドアホンの周囲が暗くありませんか？	ドアホンの周囲が暗い場合、白黒映像になりますが、故障ではありません。	—
映像がはっきりしない（焦点が合わない）	ドアホンまたはカメラのパネル（レンズ部）が汚れていませんか？	パネル（レンズ部）を柔らかい乾いた布でふいてください。	—
	ドアホンのパネル（レンズ部）が結露していませんか？	周囲の温度が常温に戻れば回復します。	—
液晶表示部の画面全体が白っぽい、または黒っぽい	明るさの設定は適切ですか？	コントラストの設定を調節してください。	82
映像、画像の表示全体が白っぽい、または黒っぽい	明るさの設定は適切ですか？	映像、画像表示中に、◀●▶を押して調節してください。	45
画像が保護できない	保護できる枚数を超過していませんか？	保護できるのは、最大20枚です。 別の画像の保護を解除してから、保護してください。 ※保護を解除した画像は、新しい画像によって順次、上書きされます。	57


こんなときは	ここを確認してください	操 作	参照 ページ
画像が消去できない	保護設定していませんか？ （「  」表示がある）	保護を解除してから、消去してください。	57
録画日時が 「--月--日 -- --:--」などと なっている※2	日時設定されていますか？	ドアホン親機で日付・時刻を設定してください。	ドアホン 親機取説
録画日時が待ち受け 中に表示される日 付・時刻とずれて いる※2	日時設定が正しいですか？	録画日時の日付・時刻がずれている場合は、ドアホン親機で訂正してください。	ドアホン 親機取説
		待ち受け中の日付・時刻がずれている場合は「IP-Digaport」または「ラ・ルリエ」の指定電話機で訂正してください。	主装置※1 取説
画面が真っ暗	電池が切れていませんか？	すぐに充電してください。	23
	待ち受け中ではないですか？	 を押すとバックライトが点灯します。	18
 が点滅し、 「ピッピッ」と鳴る	電池がなくなりかけています。	すぐに充電してください。	23

※1：「IP-Digaport」または「ラ・ルリエ」の取扱説明書の日付・時刻の設定に関するページをご覧ください。

※2：本機では「IP-Digaport」または「ラ・ルリエ」の指定電話機で設定した時刻とドアホン親機で設定した時刻の2つの時刻を使用します。

本機では「IP-Digaport」または「ラ・ルリエ」の指定電話機で設定した時刻は待ち受け中の時刻など「ラ・ルリエ」の内線電話機として本機を使用する場合に有効になります。ドアホン親機で設定した時刻はドアホン親機に保存した画像の録画日時などドアホン子機として本機を使用する場合に有効になります。

困ったときの確認事項

こんなときは	ここを確認してください	操 作	参照 ページ
充電台に置いてても充電ランプが点灯しない	ACアダプターがコンセントまたは充電台から外れていませんか？	ACアダプターをコンセントまたは充電台にしっかり差し込んでください。	23
	充電台に正しく置いていますか？	正しく置いてください。 （「ピッ」と鳴り、充電ランプが赤点灯する）	23
	充電端子が汚れていませんか？	乾いた布でふいてください。	23
	電池パックが新品、または電池が切れていませんか？	数分間、充電台に置いたままにしてください。	23
12時間以上充電しても2、3回使うと  が点滅する	電池パックの寿命です。	交換してください。	22
電話またはドアホンと通話ができない	本機の登録が削除されていませんか？	お買い上げの販売点にお問い合わせをして、再登録してください。	—
	登録が削除された他の2.4Gカラーデジタルコードレス電話機はありませんか？	電池パックを外してください。本機が使用できなくなった場合、お買い上げの販売店にお問い合わせください。	22

6

困ったときの確認事項

7 FFキーの機能名を編集する

本機からFFボタン機能を利用した時に表示されるFFキーの機能名を編集することができます。本機を「ラ・ルリエ」に接続している場合、FFキーの機能名の編集はパソコンを使用してWWWブラウザから行います。

編集はシステム管理者が編集する方法（システム管理者用）と本機をご使用になる方が編集する方法（一般用）があります。

システム管理者用の場合、全内線のFFキーの機能名を編集することができます。一般用の場合、ログインする時に入力した内線のFFキーの機能名を編集することができます。

システム管理者が編集する方法については「ラ・ルリエ」の取扱説明書をご覧ください。

本機を「IP-Digaport」に接続している場合、FFキーの機能名の編集方法は「IP-Digaport」の取扱説明書をご覧ください。

パソコンの動作条件

CPU : Intel® Pentium® 233MHz以上

RAM : 64MB以上

ハードディスクドライブの空き容量 : 26MB以上

基本OS : Microsoft® Windows® 98

Microsoft® Windows® Me

Microsoft® Windows® 2000 Professional

Microsoft® Windows® XP Professional SP2/Home Edition SP2

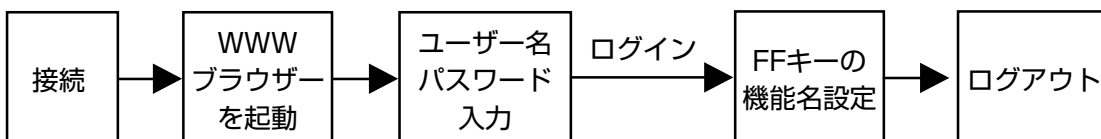
WWWブラウザ : Microsoft® Internet Explorer 6.0 SP1 (最新のパッチを適用してください)

Microsoft® Internet Explorer 6.0 SP2

お願い

- WWWブラウザのcookie機能およびJavaScript機能はONに設定してください。
- WWWブラウザで、画面の表示形式を変更するような設定がされている場合、画面が正しく表示されないことがあります。
その場合、例えば、以下の設定を確認してください。
例：Microsoft® Windows® XPの場合
 - ① 基本OSの画面のプロパティから「設定」タブを選択し、「詳細設定」ボタンをクリックしてください。
表示される画面内の「全般」タブを選択し、「DPI設定」が「通常のサイズ（96DPI）」となっていることを確認してください。
 - ② WWWブラウザの「ツール」－「インターネットオプション」メニューから「全般」タブを選択してから、「ユーザー補助」ボタンをクリックしてください。
表示されるユーザー補助画面内の書式設定の各項目にチェックが入っていないことを確認してください。ご使用の環境によって項目名の表現が異なります。

設定の流れ



お知らせ

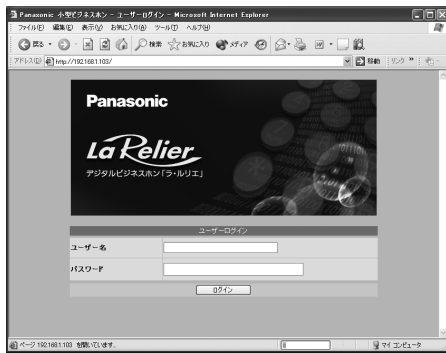
- システム管理者がすでにログインしている場合、一般用の方はログインしてデータを参照することはできませんが、データを編集して設定することはできません。
システム管理者がログアウトした後に設定を行ってください。

FFキーの機能名を編集する

1 パソコンでWWWブラウザを起動する

2 アドレスバーの入力欄に「http://主装置IPアドレス/」を入力し、主装置にアクセスする

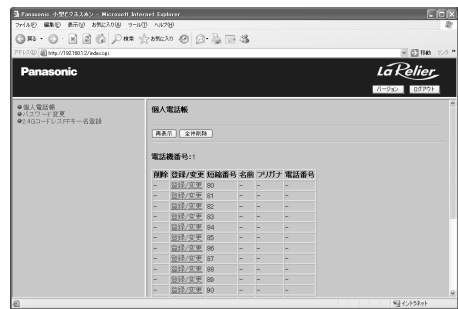
- ログイン画面が表示されます。



3 「ユーザー名」と「パスワード」を入力し、**ログイン** をクリックする

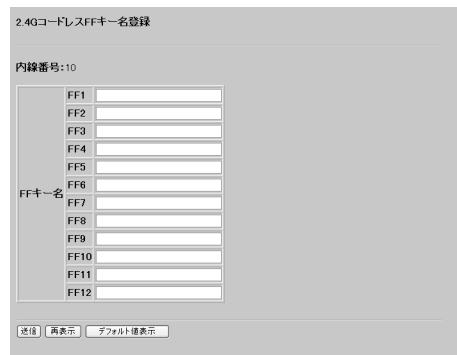
	ユーザー名	パスワード (初期値)
一般用	(内線番号)	(無し)

- メインメニュー画面が表示されます。



4 左のメニューから「2.4GコードレスFFキー名登録」をクリックする

- 2.4GコードレスFFキー名登録画面が表示されます。



7

FFキーの機能名を編集する

お知らせ

- 主装置には、あらかじめIPアドレスの設定が必要です。 **取付け時設定**
- 操作開始前に起動中のWWWブラウザを終了してから操作手順に沿ってログインしてください。

5 FFキーの名称を入力する

- 最大全角8文字（半角16文字）の文字を入力してください。
- リスト表示の場合、入力した内容が表示されます。
ボタン表示の場合、入力した内容の先頭から全角3文字（半角6文字）が表示されます。
- **デフォルト値表示** をクリックすると、各FFキーに登録されている機能名称のデフォルト値（初期値）が表示されます。
- **再表示** をクリックすると、現在、設定されているFFキーの名称が表示されます。

6 **送信** をクリックする



- 確認画面が表示されます。

7 **OK** をクリックする

- 入力した内容が反映されます。

8 **ログアウト** をクリックする

- 操作を終了します。

お願い

- ログアウトした時に設定したデータがSDメモリーカードに保存されます。ログアウトせずに主装置をリセットまたは電源を切った場合、次回の起動時に設定したデータが反映されません。操作を終了するときは、ウィンドウの **×** を押して終了したりせず、必ずログアウトをして終了してください。
× を押してしまった場合、WWWブラウザを起動し、再度ログインを行ったあとログアウトしてください。
- ログアウトに失敗した場合、登録したデータがSDメモリーカードに保存されていない可能性があります。その場合、WWWブラウザの **[更新]** ボタンをクリックし、画面の再表示を行った後に、再度 **ログアウト** をクリックしてください。

お知らせ

- 本操作は画面に表示される機能名を編集する操作です。本操作でFFキーに設定されている機能を変更することはできません。FFキーに機能を設定する方法は「ラ・ルリエ」の取扱説明書の「FFキーに機能を設定する」をご覧ください。
- 入力可能な全角文字および半角文字の詳細は「ラ・ルリエ」の取扱説明書の「パソコンから各種設定をする（一般用）」—「メインメニュー画面」のお知らせをご覧ください。対応している文字以外の文字を入力しないでください。
- WWWブラウザ上では全角、半角にかかわらず最大16文字まで入力可能ですが、8文字を超える全角文字を入力した場合は、文字入力時はエラーとならず、**送信** をクリックした時点で入力エラーとなります。したがって、全角文字を入力する際は、最大8文字までの制限を超えないようにしてください。
- 各FFキーに登録されている機能名称のデフォルト値（初期値）はありません。
デフォルト値表示 をクリックするとすべての文字がクリアされます。

7 仕様

寸法	2.4G カラーデジタルコードレス電話機	(幅) 48 mm × (奥行) 41 mm × (高さ) 171 mm
	充電台	(幅) 86 mm × (奥行) 96 mm × (高さ) 65 mm
	2.4G 接続装置	(幅) 164 mm × (奥行) 36 mm × (高さ) 133 mm
質量	2.4G カラーデジタルコードレス電話機	約 165 g (電池パック含む)
	充電台	約 76 g
	2.4G 接続装置	約 275 g
環境条件	2.4G カラーデジタルコードレス電話機	周囲温度 : 0 °C ~ 40 °C 相対湿度 : 90 %以下 (ただし結露なきこと)
	充電台	
	2.4G 接続装置	
電源	2.4G カラーデジタルコードレス電話機	専用ニッケル水素蓄電池 DC 3.6 V (600 mAh)
	充電台	ACアダプター 入力 : AC 100 V 50/60 Hz 出力 : DC 7.5 V
	2.4G 接続装置	「IP-Digaport」または「ラ・ルリエ」の主装置より給電
消費電力	2.4G カラーデジタルコードレス電話機	約 1 W
	充電台	約 0.45 W
	2.4G 接続装置	約 1.3 W
充電完了時間		約 12 時間

7

仕様

7 | さくいん

あ

一斉呼出	61
いろいろな機能設定	80
液晶表示部	25
オフフック応答	76、77
音量の調節	29

か

外線へかける	31、39
外線を受ける	33、40
各部の名前	18
各部のはたらき	18
画像ガイド表示	86
画像再生	52、86
画像を再生する	52
画像を消去する	55
画像を保護する	56
画像を保存する	51
カメラに応答する	47
カメラモニター	60
キー確認音	82
機能メニュー一覧	82
キャッチホン	33
クイックサイレント	30
クイック通話	74、84
声を変えて話す	68、83
子機増設	84
子機の名前	86
困ったときは	88
コマンドナビキー	27
コントラスト	82

さ

サイレントモード	30
再ダイヤル	32
自動録画	51
充電する	23
充電台	20
仕様	94
肖像権	14
消費電力	94
設定の初期化	84
接続装置	20
操作ガイド	79、82
ソフトキー	26

た

短縮	31
中継アンテナ	13
電池パックについて	21
電池パックの取り付け	22
電波干渉	14
電話呼出音	69、86
電話呼出音源	85
電話を転送する	43
電話を保留する	42、43
ドアホン親機	12、61
ドアホン子機	12、16、61
ドアホン通話を転送する	50
ドアホン通話を保留する	49
ドアホン内線通話	61
ドアホン内線呼出	61、86
ドアホンに应答する	45
ドアホンモニター	59
ドアホン呼出音	86
動作モード	83

な

内線トークバック	34
内線へかける	32

は

バックライト時間	82
表記方法	16
プライバシー	14
ボイスセレクト	44
ボイスチェンジ	68、83
ボイスチェンジ音質	83
保護を解除する	56
保証とアフターサービス	97
保留	42、43

ま

マーク	14、16、25
ミュート	78

や

用語	16
----------	----

ら

録画日時表示	58、86
--------------	-------

英数字

FF キー機能名	85
FF キー自動表示	41、85
FF キー初期画面	85
FF ボタン	28

7 保証とアフターサービス

■ 保守契約について

販売店とご相談のうえ、保守契約をお結びください。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は…

お買い上げの販売店、または販売会社へお申し付けください。

移転の際のご相談は…

お買い上げの販売店、または販売会社へお申し付けください。

ご連絡いただきたい内容	
製品名	2.4G カラーデジタルコードレスセット
品番	VB-W400B
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に

■ 保証期間について

保証期間はお買い上げ日から1年間です。

ただし、充電式電池は消耗品ですので、保証の対象外とさせていただきます。

■ 補修用性能部品の保有期間

当社は、この2.4G カラーデジタルコードレスセットの補修用性能部品を、製造打ち切り後7年保有しています。

注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 修理を依頼されるとき

「困ったときの確認事項」(➡88ページ～90ページ)に従ってご確認のあと、直らないときは、お買い上げの販売店へご連絡ください。

● 保証期間中は

主装置に添付の保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

● 保証期間を過ぎていたときは

修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。下記修理料金の仕組みをご参照のうえご相談ください。

● 修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

■ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱い

松下電器産業株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、折り返し電話をさせていただくための、ナンバー・ディスプレイを採用しています。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

- 正常な使用状態で本製品に故障が生じた場合、当社は主装置に添付の保証書に定められた条件に従って修理をいたします。ただし、停電などの外部要因、または本製品の故障、誤動作等で、本製品が使えなかったことによる付随的損害（料金管理など）の補償については、当社はその責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 説明書に記載されている内容は、製品のバージョンアップなどに伴い、将来予告なしに変更することがあります。

※料金改定に対応するためのプログラム設定は別途有償になります。

●メモ

便利メモ (おぼえのため、記入されると便利です)

お買い上げ日	年 月 日	品番	VB-W400B
販売店名	電話 () —		
お近くの販売会社	電話 () —		

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は、まず**お買い上げの販売店**へお申し付けください。

パナソニック コミュニケーションズ株式会社 00106-4038
コミュニケーションネットワークカンパニー PSQX3924VA-UU

〒153-8687 東京都目黒区下目黒二丁目3番8号 電話 (03) 5719-3694

© 2008 Panasonic Communications Co., Ltd. All Rights Reserved.